

第67回 日本薬学会 関東支部大会

基礎・臨床・実務の多様性が
次世代医療を創る

要旨集

日本薬学会関東支部 若手シンポジウム

製剤の体内動態を精細に解明する



会期：2023年9月16日(土)

会場：明治薬科大学

第 67 回日本薬学会関東支部大会

日本薬学会関東支部若手シンポジウム

講演要旨集

2023 年 9 月 16 日（土）

会場：明治薬科大学

目 次

■ 大会組織	2
■ 開催のご挨拶	3
■ 日程一覧表	4
■ アクセス	5
■ 大学建物配置図	5
■ 会場案内図	6
■ 当日のご案内	9
■ プログラム	
・ 2023 年度日本薬学会関東支部奨励賞表彰式及び受賞講演	15
・ 大会企画シンポジウム	16
・ 特別講演	19
・ 日本薬学会関東支部 若手シンポジウム	20
・ ランチョンセミナー	21
・ 一般演題 口頭発表	22
・ 一般演題 ポスター発表	33
■ 要旨	
・ 2023 年度日本薬学会関東支部奨励賞受賞講演	49
・ 大会企画シンポジウム	57
・ 特別講演	95
・ 日本薬学会関東支部 若手シンポジウム	99
・ ランチョンセミナー	107
・ 一般演題 口頭発表	115
・ 一般演題 ポスター発表	183
■ 大会協賛企業・団体・個人	309

大会組織（明治薬科大学）

大会組織委員長	越前 宏俊
大会実行委員会	
実行委員長	杉田 隆
副実行委員長	兎川 忠靖、小笠原 裕樹
財務責任者	小笠原 裕樹
プログラム委員長	齋藤 望
プログラム委員	櫛山 暁史、紺谷 圈二、野地 匡裕、服部 研之、 花田 和彦、菱沼 滋、深水 啓朗
広報責任者	小林 カオル
会場責任者	山中 正道
会場運営責任者	蒲生 修治、馬場 正樹
会場管理責任者	横屋 正志
委員（五十音順）	相田 和輝、赤沢 学、朝田 瑞穂、阿部 直子、荒井 栄太、 荒木 信*、飯田 克巳、石井 里枝、泉川 桂一、伊藤 元気、 稲田 俊一郎、井上 元基、植沢 芳広、浦辺 宏明、 大浦 崇、大澤 伸行、大野 恵子、大山 悦子、大類 彩、 小川 泰弘、小田 絢子、川北 晃司、河本 瑞樹、 菅野 敦之、気賀沢 富夫、岸田 敦、紀 嘉浩、木村 真也、 倉門 早苗*、小池 伸*、小関 珠美、後藤 宏、 近藤 佳奈、今野 亮、斎坂 ゆかり、齊藤 文、酒井 良子、 櫻井 優花、佐々木 寛朗、佐藤 光利、下川 健一、 進藤 佐和子、杉 富行、杉原 稔、杉山 重夫、鈴木 俊宏、 鈴木 陽介、瀬戸 樹、高取 和彦、高取 薫、高野 麻子、 高橋 朝幸、高橋 雅弘、田口 潤、田湯 正法、月村 考宏、 富永 大介、永井 純子、中舘 和彦、長田 敏樹、 長浜 正巳、浪間 勇人、野澤 玲子、野田 知宣、 林 賢*、林 弘美、東 恭一郎、樋口 和宏、 日堂 修、廣瀬 誠、前田 英紀、町田 いづみ、松井 勝彦、 松永 和磨、松永 正隆、松本 泰明、松本 靖彦*、 三浦 康彰、道永 昌太郎、峰岸 元気、宮崎 秀信、 宮沢 伸介、宮嶋 篤志、村松 進、村山 泰士、望月 靖子、 森田 雄二、安 武夫、柳津 茂慧、山崎 紀子、山田 聖子、 山谷 明正、山室 大介、渡辺 史也
	*大会本部

日本薬学会関東支部 若手シンポジウム

実行委員長	深水 啓朗
-------	-------

第 67 回日本薬学会関東支部大会開催にあたって

このたび、第 67 回日本薬学会関東支部大会を明治薬科大学（東京都清瀬市）において開催する運びとなりました。水と緑溢れる自然豊かな清瀬キャンパスに皆さまをお迎えし、研究交流の機会をもつことができることを大変嬉しく、また光栄に思います。

今大会はテーマとして「基礎・臨床・実務の多様性が次世代医療を創る」を掲げました。長きに渡るコロナ禍を契機として、薬学教育をはじめ、研究と医療を取り巻く環境がかつてない規模と速度で変化を始めています。日本の薬学が次世代の医薬品開発と医療実践に貢献していくためには、基礎と臨床、実務という分野横断的で多様性のある研究の推進が求められます。多様性こそが革新的かつ融合的な研究体制を生み出し、私たちの薬学研究が未来の医療を培う礎になると考えます。

今回は、この大会テーマのもと、日本薬学会関東支部会員の皆様から一般演題発表 374 題（口頭発表 129 題、ポスター発表 245 題）の登録を頂き、加えて本学組織委員会が企画した 6 つの大会シンポジウム、若手シンポジウム（併催）、特別講演、ランチョンセミナーや企業展示等のプログラムを準備いたしました。日頃の研究成果を存分に発表いただき、活発な議論や有意義な情報交換の場となることを期待します。また、本大会を通して参加者の皆さま同士が大学や企業、病院や各研究機関といった枠組みを超え、相互に交流と親睦を深められる機会となり、薬学の未来を拓くべくともに邁進される一助になれば幸いです。

最後に、本大会の開催にあたり、多くの先生方のご指導、ならびに企業・団体の皆様からご協賛やご支援を賜りました。ここに厚く御礼申し上げます。

第 67 回日本薬学会関東支部大会・組織委員長

明治薬科大学・学長

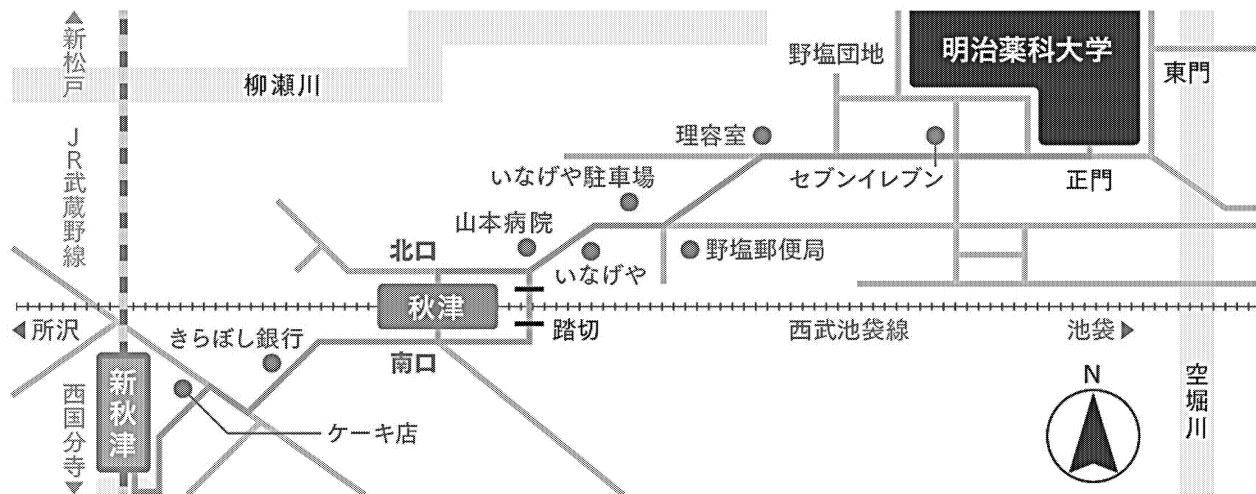
越前 宏俊

日程一覧表

		8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
				一般口頭発表 9:00～11:15		ランチョンセミナー 11:30～12:30	支那奨励賞表彰式 及び受賞講演 12:45～14:15		シンポジウム・特別講演 S・SY・SI 14:40～16:20		ポスター発表 奇数：16:40～17:20 偶数：17:20～18:00		懇親会 18:30～19:30
【講義棟】													
1階	A会場	101 講義室		化学系① A-01～A-05	化学系② A-06～A-10	LS-1 株式会社フォーラル			SI 創薬化学の進化と多様化				
	B会場	102 講義室		化学系③ B-01～B-05	化学系④ B-06～B-10								
	C会場	103 講義室		化学系⑤ C-01～C-05	化学系⑥ C-06～C-10				S3 老化研究の多様性と予防医学による 健康寿命延長の可能性を探る				
	D会場	104 講義室		化学系⑦ D-01～D-05	化学系⑧ D-06～D-10	LS-2 株式会社 博報堂メディアカル			S2 RNA研究が拓く新しい疾患克服への アプローチ				
	E会場	105 講義室		化学系⑨ E-01～E-05	物理系① E-06～E-09								
2階	F会場	106 講義室		物理系② F-01～F-05	物理系③ F-06～F-10								
	G会場	205 講義室	明治薬科大学 薬学部	生物系① G-01～G-05	生物系② G-06～G-09	LS-3 太閤ファルマ株式会社			S4 炎症性疾患への薬理学的アプローチ				
	H会場	206 講義室	理研 理事室	生物系② H-01～H-05	生物系④ H-06～H-09				S5 薬剤学を基盤とした トランスレーショナル研究の最前線				
	I会場	207 講義室	理研 理事室	生物系⑤ I-01～I-04	生物系⑥ I-05～I-08				S6 次世代医療に繋ぐための薬物治療学教育 へコア・カリキュラム改訂に備えて～				
	J会場	208 講義室		生物系⑦ J-01～J-04	生物系⑧ J-05～J-08	LS-4 株式会社 増殖製作所							
3階	K会場	305 講義室		環境・衛生系① K-01～K-04	環境・衛生系② K-05～K-08	LS-5 日本調剤株式会社							
	L会場	306 講義室		環境・衛生系③ L-01～L-04	環境・衛生系④ L-05～L-08								
	M会場	307 講義室		医療系① M-01～M-06	医療系② M-07～M-10								
	N会場	308 講義室		医療系③ N-01～N-05	医療系④ N-06～N-10	LS-6 NIフォース株式会社							
	【フロアシス棟】												
1階	Y会場	8112 講義室					受賞講演 12:45～14:15			若手シンポジウム(SY) 製剤の体内動態を精密に解明する			
	S会場	8111 講義室				幹事会 11:30～12:30			特別講演(SI) 14:40～16:20				
【厚生棟】													
3階	P会場	多目的 大講義室		ポスター貼付 9:30～10:00			ポスター展示 10:00～16:40				ポスター発表 奇数：16:40～17:20 偶数：17:20～18:00		
1階		学生食堂											懇親会 18:30～19:30
【本部棟】													
2階		学生ホール					機器・カタログ展示						

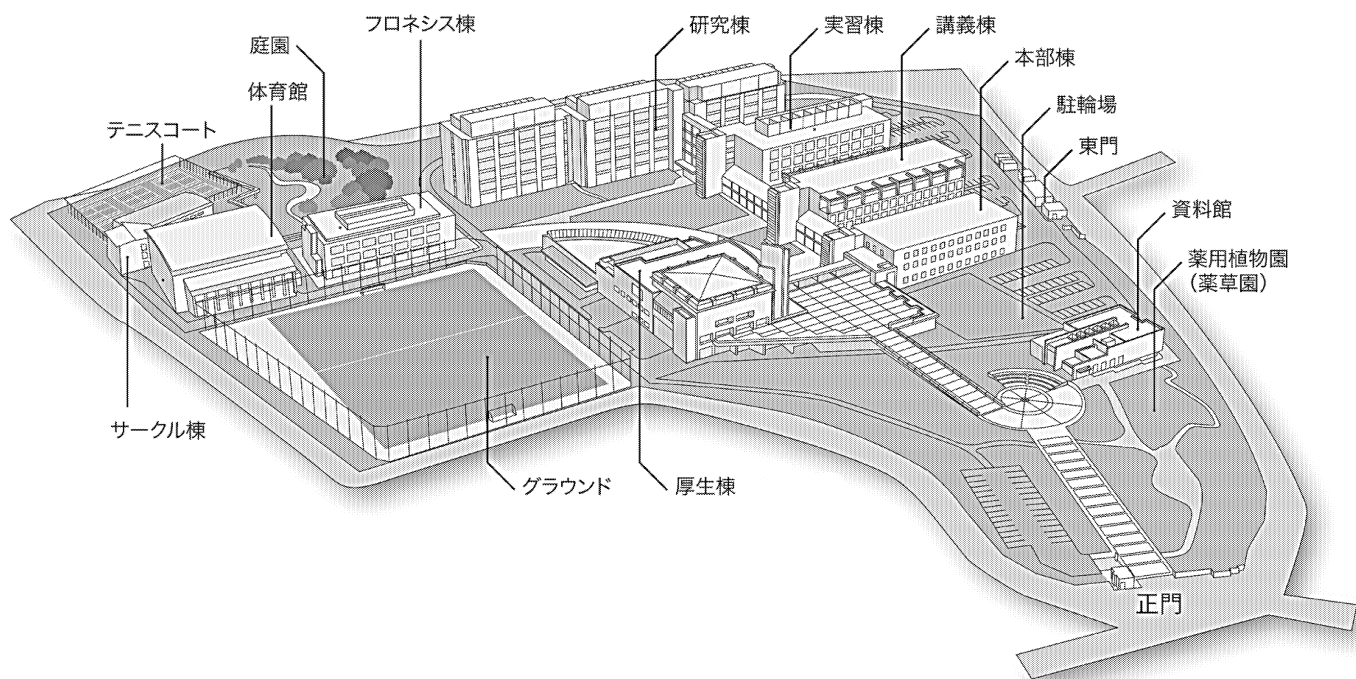
アクセス

● 清瀬キャンパス

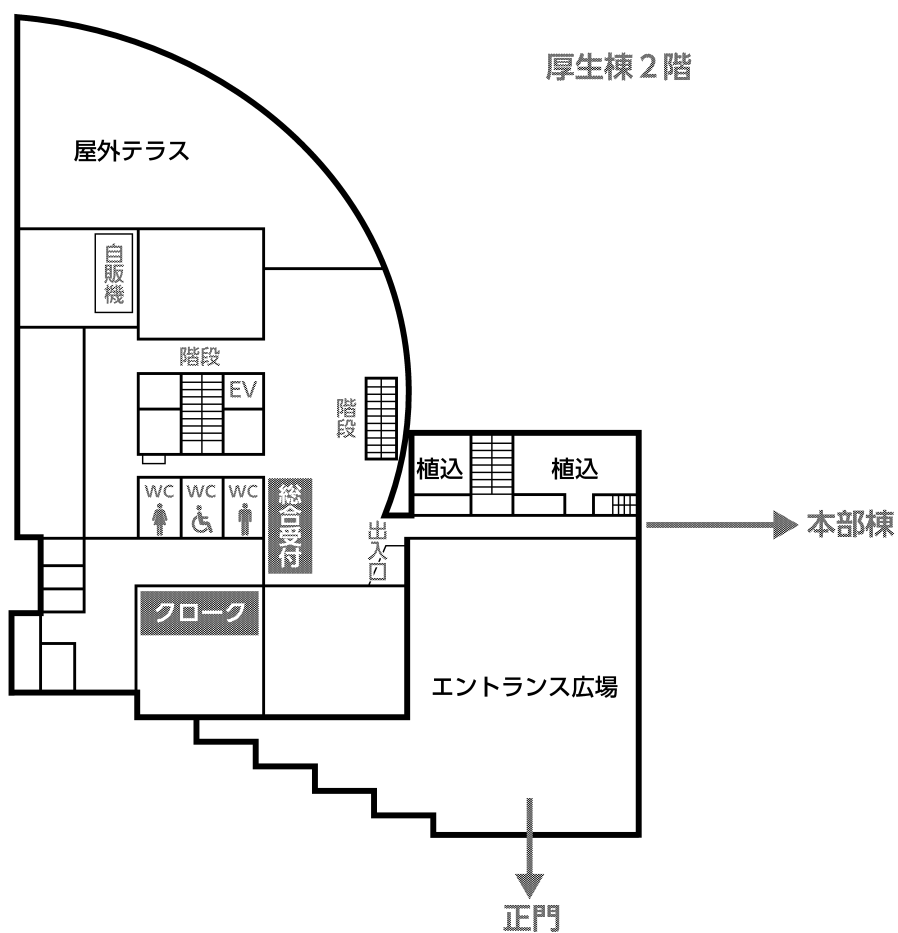
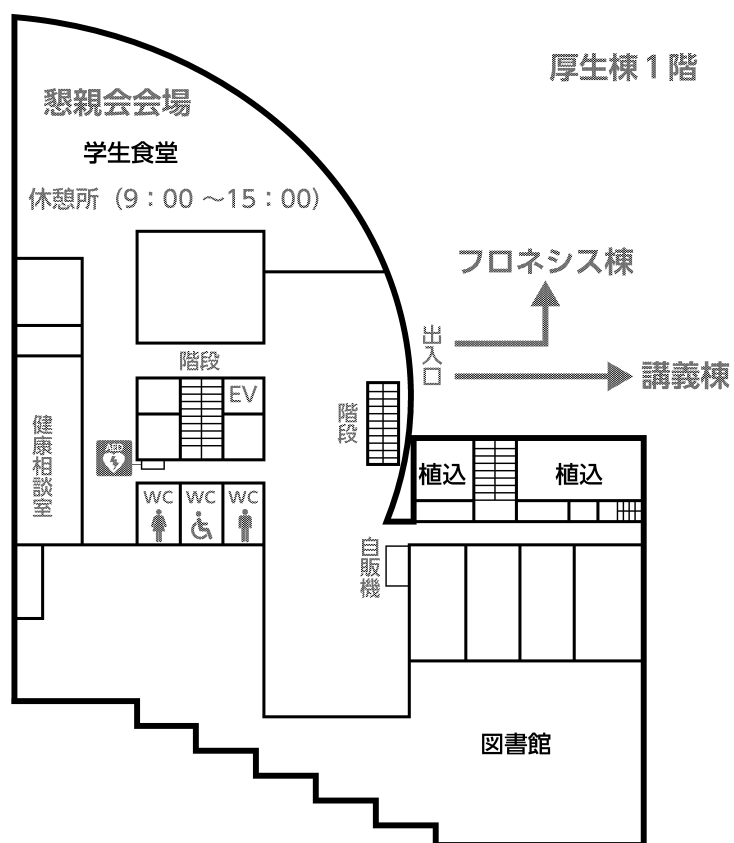


徒歩の場合	タクシー利用の場合
●西武池袋線「秋津」駅下車 ……………約12分	●西武池袋線「清瀬」駅から ……………約10分
●JR武蔵野線「新秋津」駅下車 ……………約17分	●JR武蔵野線「新秋津」駅から ……………約10分

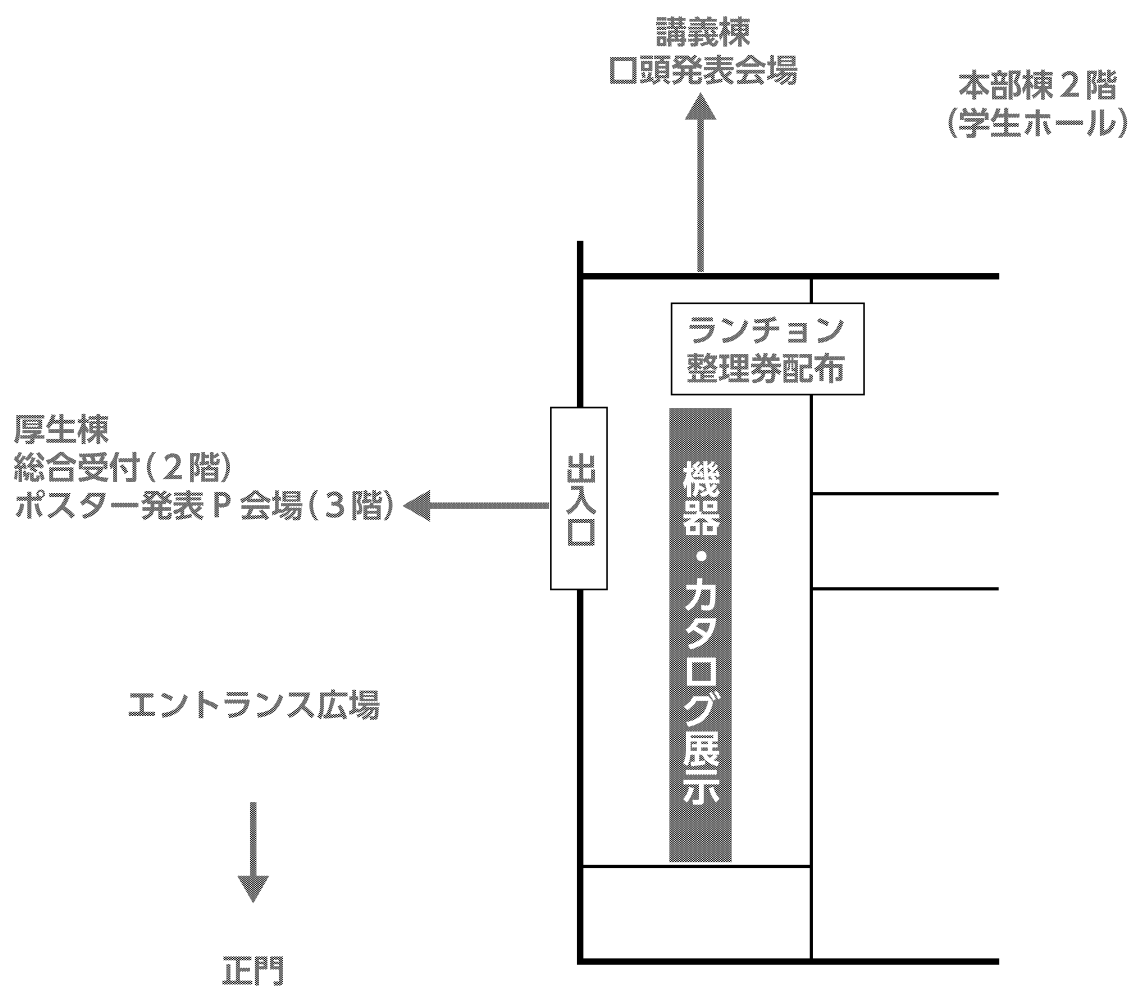
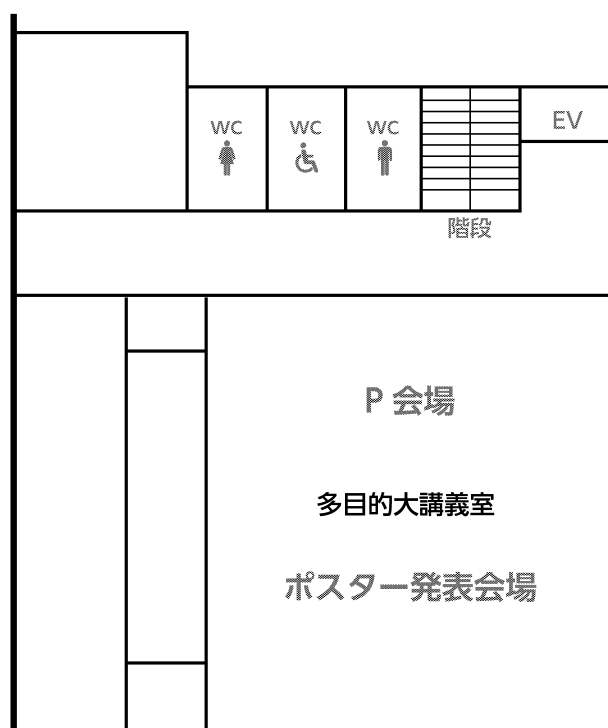
大学建物配置図



会場案内図



厚生棟 3 階



講義棟

■ 3階



■ 2階

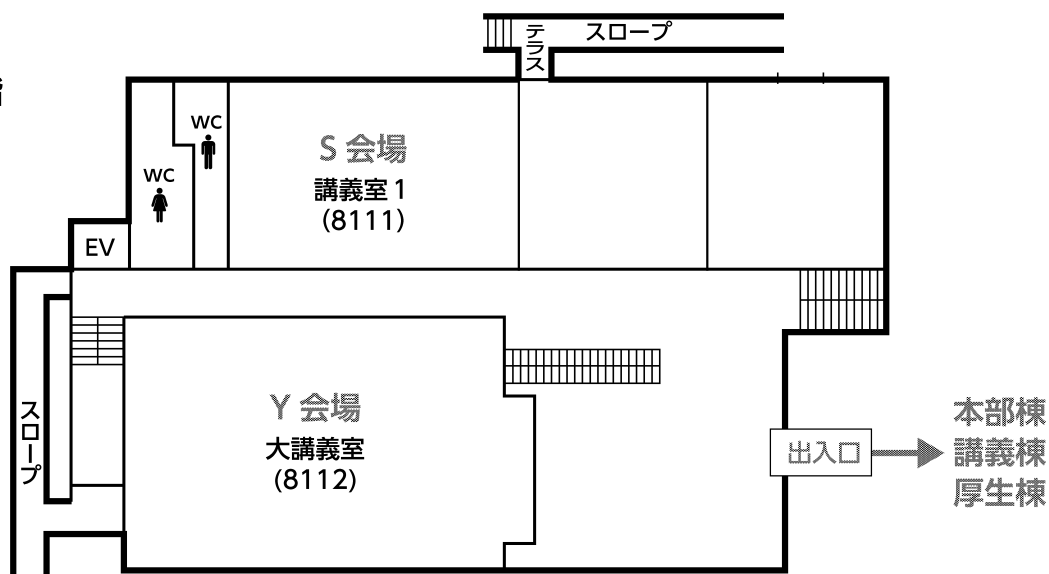


■ 1階



フロネシス棟

■ 1階



当日のご案内

参加者へのご案内

1. 参加手続きについて

◆ 事前参加登録を済まされた方

- ・ 受付は8:00より開始します。
- ・ 厚生棟2階の総合受付で参加証と要旨集をお受け取りください。
- ・ 期日までに参加費をお振り込みいただけない場合は、当日参加登録としてのお取り扱いとなります。

◆ 当日参加受付をされる方

当日参加の方は、厚生棟2階総合受付にて申込用紙に記入のうえ、参加費をお支払いください。

	参加費	懇親会会費
一般（会員）	4,000 円	2,500 円
一般（非会員）	4,500 円	2,500 円
学生（会員、非会員）	2,500 円	2,500 円

◆ 参加証

参加証に氏名と所属機関を記入し、会場内では必ずご着用ください。

2. 懇親会

18:30より厚生棟1階学生食堂にて、懇親会を開催します。当日参加もできますので、ご希望の方は17:00までに厚生棟2階総合受付にてお申込みください。参加費は、一般・学生とも2,500円です。

3. ランチョンセミナー

ランチョンセミナーは、整理券をお持ちのうえセミナー会場にお越しください。

- ・ 整理券配付場所：本部棟2階（学生ホール）
- ・ 整理券配付時間：8:00から（なくなり次第終了）
- ・ 整理券はランチョンセミナー開始後10分を過ぎると無効になります。セミナー開始後10分を過ぎると、整理券をお持ちでない方に提供されますことをご了承ください。

4. 薬剤師シール

本大会では、日本薬剤師研修センター（単位数：4単位）、日本病院薬剤師会認定薬剤師制度（単位数：4単位）の認定研修会として認定シールを配付いたします。取得できる研修単位は薬剤師研修センターか日本病院薬剤師会のいずれか一方となります。ただし、配付には「9：00までに入場し、18：00より前に退場しない。」条件を満たすことが必要です。日本薬剤師研修センターと日本病院薬剤師会発行の認定シールの申請手順及び配布方法の手続きが異なりますのでご注意ください。また、変更となる場合がありますので、申請の際は総合受付でご確認ください。当日は薬剤師名簿登録番号がわかるものをご持参ください。持参されなかった場合、認定シールを配付することができませんのでご注意ください。

入場受付時間： 8：30 — 9：00

退場受付時間：18：00 — 18：30

■日本薬剤師研修センター

1. 交付にあたっては、日本薬剤師研修センターの研修認定薬剤師制度の基準に則って扱いますので、各自でご確認ください。
2. 薬剤師研修・認定電子システム (PECS) への事前登録によるご自身の QR コードの取得をお願いします。
3. 開始時間前および終了時間後に PECS 読取り装置により登録をお願いします。
4. PECS の QR コード読取り装置は、総合受付横に専用受付を設置します。

■日本病院薬剤師会

1. 交付にあたっては、日本病院薬剤師会の病院薬学認定薬剤師制度の基準に則って扱いますので、各自でご確認ください。
2. 総合受付横の専用受付にて参加証に押印を受けてください。
3. 終了時間後に専用受付でチェックを受けシールを受け取ってください。

5. 会場内のサービス

◆ クローク

下記のとおりクロークを設置し、お荷物をお預かりします。貴重品、PC 等につきましては、破損・紛失等の責任は負いかねますので各自お持ちください。

開設時間: 8：00～18：15

場所：厚生棟 2 階

◆ 休憩室について

休憩室として以下の会場を利用できます。お忘れ物にご注意ください。

厚生棟 1 階 学生食堂（9：00～15：00）

◆ 学生食堂の営業について

営業しておりません。

◆ 売店

営業しておりません。正門を出て右手にセブンイレブンがございます。

◆ 会場での無線 LAN 接続

明治薬科大学では、eduroam による無線 LAN をご利用頂けます。ご利用の際は、PC やスマートフォンの Wi-Fi の設定から eduroam を選び、ご利用下さい。詳しくは「eduroam 利用者向け情報」(https://www.eduroam.jp/for_users) をご参照下さい。

6. 注意事項

◆ 撮影

講演会場、ポスター会場でのカメラ、ビデオ、携帯電話等による撮影・講演音声の録音は禁止します。

◆ 携帯電話

講演会場内での携帯電話による通話は禁止します。また、会場内ではマナーモードに設定し、講演中に呼び出し音が鳴らないようにご注意ください。

◆ 禁煙

大学敷地内は全面禁煙になっておりますので、ご協力をお願いいたします。

◆ ゴミの分別

学内にゴミ箱が設置されております。ゴミの分別にご協力ください。なお、ランチョンセミナーの弁当容器はランチョンセミナー会場出口で回収します。

座長・発表者へのご案内

1. 座長

◆ 受付

- ・ 一般口頭発表の座長は開始 30 分前までに各会場の座長受付にお越し下さい。

◆ 進行および時間管理

- ・ 座長にご一任しますので、発表時間を厳守し円滑な運営にご協力ください。
- ・ プログラムに各演題の発表開始予定時刻が記載されています。当日の進行状況に伴う時間変更は会場内の進行係にご指示ください。
- ・ 計時は会場の進行係が行い、次のタイミングでベルを鳴らします。
 - 発表時間終了 1 分前（1 鈴）
 - 発表時間終了、質疑開始（2 鈴）
 - 質疑終了、演者の持ち時間終了（3 鈴）

2. シンポジスト・奨励賞受賞者

◆ 受付

- ・ 奨励賞受賞者には発表前に会場でスライドの試写を行っていただきます。12:00に Y 会場（フロネシス棟）へお越し下さい。
- ・ シンポジストには発表前に会場でスライドの試写を行っていただきます。14:10までに各会場へお越し下さい。

◆ 発表方法

- ・ 発表者ご自身のPCを使用して頂きます。
- ・ PCとプロジェクターをつなぐHDMIケーブルおよびD-sub15ピン（VGA）のケーブルは大会で用意します。その他の必要なコネクタ類はご自身でご準備ください。なおMacを使用される際には、会場によってHDMIケーブルとの相性が悪い場合がありますので、VGA端子で接続するためのコネクタも併せてお持ち下さい。
- ・ 各会場にはPC（Windows 10搭載、Microsoft Office Power Point 2019）が設置されています。発表者ご自身のPCとの接続がうまく行かない場合、そちらをお使い頂くことも可能です。
- ・ バッテリー切れに備え、電源アダプターを各自ご持参ください。
- ・ 万一の場合に備えて、発表で使用するPower Point等のデータおよびそれをPDFに変換したデータを保存したUSBメモリーをご持参ください。
- ・ Macの設置、貸し出しは行いません。

3. 一般演題 口頭発表者

◆ 発表者受付

- ・ 発表者は発表の30分前までに、各会場前にて口頭発表受付をお済ませください。

◆ 発表時間

- ・ 1演題あたりの発表時間は11分 (発表 9 分、質疑 2 分)、交代時間 1 分です。
- ・ 発表中は次のタイミングでベルが鳴ります。

発表時間終了 1 分前 (1 鈴)

発表時間終了、質疑開始 (2 鈴)

質疑終了、演者の持ち時間終了 (3 鈴)

◆ 発表方法

- ・ 発表者ご自身のPCを使用して頂きます。
- ・ 一般演題口頭発表はスライドの試写を行いません。
- ・ PCとプロジェクターをつなぐHDMIケーブルおよびD-sub15ピン (VGA) のケーブルは大会で用意します。その他の必要なコネクタ類はご自身でご準備ください。なおMacを使用される際には、会場によってHDMIケーブルとの相性が悪い場合がありますので、VGA端子で接続するためのコネクタも併せてお持ち下さい。
- ・ 各会場にはPC (Windows 10搭載、Microsoft Office Power Point 2019) が設置されています。発表者ご自身のPCとの接続がうまくいかない場合、そちらをお使い頂くことも可能です。
- ・ バッテリー切れに備え、電源アダプターを各自ご持参ください。
- ・ 万一の場合に備えて、発表で使用するPower Point等のデータおよびそれをPDFに変換したデータを保存したUSBメモリーをご持参ください。
- ・ Macの設置、貸し出しは行いません。

4. 一般演題 ポスター発表者

◆ 発表会場・時間

会場：P会場 (厚生棟 3 階 多目的大講義室)

ポスター貼付時間：8：30～10：00

発表時間：奇数番号 16：40～17：20 / 偶数番号 17：20～18：00

ポスター撤去時間：18：00～18：15

◆ 掲示スペース

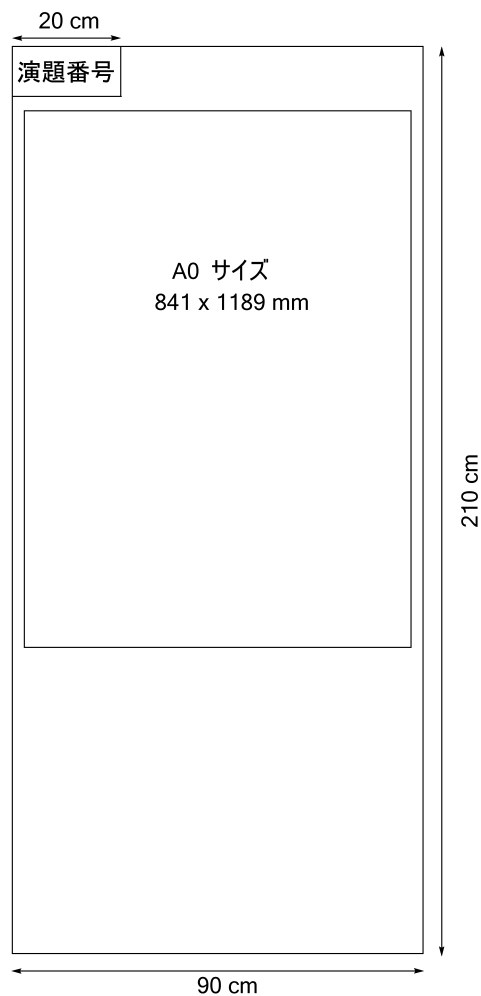
- ・ ポスターボードの大きさは縦210 cm、横90 cmです（右図参照）。ポスター上部に「演題名」「所属名」「発表者名（発表者に○印をつける）」を書いて下さい。
- ・ パネルの左上に演題番号が貼ってあります。
- ・ ポスターボードは演題番号順に並んでいます。ご自身の演題番号が貼ってあるボードにポスターを掲示して下さい。

◆ 発表の要領

- ・ 会場でのポスター発表の受付はありません。
- ・ 押しピンとりボンを入れた紙コップを各ボードに用意しますので、8：30～10：00の間に所定のボードに掲示してください。
- ・ 発表・討論の時間には必ずご自分のポスター前に立ち、質問・討論に応じてください。なお、発表者を示すりボンを用意しますので胸等にお付けください。

◆ ポスターの撤去

- ・ ポスターは掲示時間が終了後（18：00）、速やかに撤去してください。また押しピンおよびりボンは紙コップに戻し、各ボード前に返却してください。
- ・ 18：15を過ぎても撤去されないポスターは組織委員会にて処分させていただきます。



プログラム

I. 2023年度 日本薬学会関東支部奨励賞表彰式及び受賞講演

Y会場【フロネシス棟：8112講義室】 12：45～14：15

1. 表彰式

日本薬学会関東支部長 川邊 武史（第一三共株式会社）

2. 受賞講演

AL-1 ドナー・アクセプター型分子の特性を利用した分析試薬の開発

梅野 智大（昭和薬大）

座長： 出水 庸介（国立医薬品食品衛生研究所 有機化学部）

AL-2 生体システムが創発する複雑性に基づく生体応答・薬理応答の解析基盤構築：骨代謝から生体一般へ

荻谷 嘉顕（東大院薬）

座長： 高田 龍平（東京大学医学部附属病院薬剤部）

AL-3 雄性生殖を介した継世代影響を予測する新規毒性評価法の開発

横田 理（国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター・毒性部）

座長： 川邊 武史（第一三共株式会社）

AL-4 新規薬剤開発および薬物療法を目指した生体内代謝物トランスポーターの機能解析

樋口 慧（東京薬科大学 薬学部 薬物動態制御学教室）

座長： 井上 勝央（東京薬科大学 薬学部 薬物動態制御学教室）

AL-5 合成レチノイドAm80による分化誘導を基盤としたCOPD根治治療法と吸入粉末剤の開発

秋田 智后（東京理科大学 薬学部）

座長： 山下 親正（東京理科大学 薬学部 DDS・製剤設計学）

Ⅱ. 大会企画シンポジウム

シンポジウムS1 A会場（101講義室）14：40～16：20

創薬化学の深化と多様化

座長：齋藤 望、山中 正道（明治薬大）

S1-1 スルホニウム塩が拓く機能性分子創製へのアプローチ

樋口 和宏（明治薬科大学 薬学部）

S1-2 低環境負荷型高選択的変換を目指した新規反応の開発

末木 俊輔（武蔵野大学 薬学部 薬学研究所）

S1-3 アミド窒素への多重結合・フッ素修飾の化学～構造・反応性への影響

山崎 龍（昭和薬科大学 薬学部）

S1-4 グリコシルホウ酸塩を用いたアリール C-グリコシド合成法の開発

東林 修平（慶應義塾大学 薬学部）

シンポジウムS2 D会場（104講義室）14：40～16：20

RNA研究が拓く新しい疾患克服へのアプローチ

座長：長浜 正巳、紀 嘉浩（明治薬大）

S2-1 ノンコーディングRNAによるストレス応答

秋光 信佳（東京大学 アイソトープ総合センター）

S2-2 RNA-MSを用いたRNA修飾解析と疾患関連因子の分子機能解析への応用

泉川 桂一（明治薬科大学）

S2-3 RNautophagyの分子メカニズムと役割

株田 智弘（国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第四部）

S2-4 血液脳関門通過性ヘテロ核酸の開発

横田 隆徳（東京医科歯科大学 脳神経内科、核酸・ペプチド医薬創薬センター）

シンポジウムS3 C会場（103講義室）14：40～16：20

老化研究の多様性と予防医学による健康寿命延長の可能性を探る

座長：萬谷 博（東京都健康長寿医療センター）、服部 研之（明治薬大）

S3-1 老化の遺伝的要因と環境要因

高橋 良哉（東邦大学 薬学部 生化学教室）

- S3-2 脂肪組織の質による老化の制御
樋上 賀一（東京理科大学 薬学部 生命創薬科学科、生命医科学研究所）
- S3-3 肺組織の老化・疾患と細胞老化
杉本 昌隆（東京都健康長寿医療センター研究所 老化細胞）
- S3-4 老化モデルマウスを用いた包括的組織グライコーム解析
萬谷 博（東京都健康長寿医療センター研究所）

シンポジウムS4 G会場（205講義室）14：40～16：20

炎症性疾患への薬理学的アプローチ

座長：野澤 玲子、小川 泰弘（明治薬大）

- S4-1 炎症性疼痛モデルマウスにおける硫酸化糖脂質スルファチドの機能
渡辺 俊（北里大学 薬学部）
- S4-2 心不全進展でのインフラマソームの病態生理学的役割
丸ノ内 徹郎（東京薬科大学 薬学部）
- S4-3 アクアポリン水チャネルによる炎症応答の調節
磯濱 洋一郎（東京理科大学 薬学部）
- S4-4 頭部外傷による脳浮腫と炎症に対するsonic hedgehogの抑制作用
道永 昌太郎（明治薬科大学 薬学部）

シンポジウムS5 H会場（206講義室）14：40～16：20

薬剤学を基盤としたトランスレーショナル研究の最前線

座長：青山 隆彦（日大薬）、長 直樹（Meiji Seikaファルマ株式会社）

- S5-1 創薬初期におけるAIを活用したドラッグデザインの最前線
鳥本 奈緒（田辺三菱製薬株式会社 創薬本部 薬物動態研究所）
- S5-2 ヒト化モデルを用いた肝および小腸における薬物代謝の予測
峰岸 元気（明治薬科大学 薬剤学研究室）
- S5-3 創薬の壁に挑戦するトランスレーショナルリサーチのShinka
赤羽 隆文（アステラス製薬株式会社 開発研究 非臨床バイオメディカルサイエンス）
- S5-4 薬物治療を最適化するツールとしてのファーマコメトリクスと機械学習ー現状と将来性ー
笠井 英史（慶應義塾大学）

シンポジウムS6 I会場（207講義室）14：40～16：20

次世代医療に繋ぐための薬物治療学教育 ～コア・カリキュラム改訂に備えて～

座長：櫛山 暁史、高橋 雅弘（明治薬大）

- S6-1 次世代医療を担う薬剤師を育成するための臨床薬学教育
大野 恵子（明治薬科大学 薬学部）
- S6-2 多様化する薬剤師業務の基盤となる臨床思考能力を養成する統合演習の実施
－臨床実務実習に向けての事前教育－
岩澤 晴代（帝京大学 薬学部 薬学教育推進センター 学習推進ユニット）
- S6-3 IR室から見た6年制薬学教育の現状
東 恭一郎（明治薬科大学 薬学部）
- S6-4 多様化するニーズへ対応するために薬剤師としての専門性を深化させるには
津田 泰正（聖路加国際大学 聖路加国際病院 薬剤部）
- S6-5 患者さんと目指す医薬品適正使用－薬学教育への期待－
俵木 登美子（くすりの適正使用協議会）

Ⅲ. 特別講演

S会場【フロネシス棟：8111講義室】 14：40～16：20

SL-1 毒性・副作用研究における人工知能の有用性

植沢 芳広（明治薬科大学）

座長：酒井 良子（明治薬大）

SL-2 薬を扱うなら知っておきたい！ 薬剤経済はじめての一步

赤沢 学（明治薬科大学）

座長：酒井 良子（明治薬大）

IV. 日本薬学会関東支部 若手シンポジウム

Y会場【フロネシス棟：8112講義室】14：40～16：20

製剤の体内動態を精細に解明する

座長：深水 啓朗（明治薬大）、山本 佳久（帝京平成大薬）

SY-1 過飽和製剤による難溶性薬物の経口吸収性改善メカニズム

植田 圭祐（千葉大学大学院薬学研究院）

SY-2 超音波セラノステイクスシステムを指向したナノバブル注射剤の開発

高橋 葉子（東京薬科大学 薬学部）

SY-3 マイクロニードル技術を活用した新たな経皮吸収製剤の品質評価法の開発

安藤 大介（国立医薬品食品衛生研究所 薬品部）

SY-4 Nose-to-Brainを指向した中枢標的経鼻投与製剤の設計

鈴木 直人（日本大学 薬学部）

SY-5 分化誘導を基盤とする肺胞再生を目指した脂質ナノ粒子を用いた吸入粉末システムの開発

秋田 智后（東京理科大学 薬学部）

V. ランチョンセミナー

LS-1 A会場（101講義室）11：30～12：30

【協賛企業：株式会社フォーラル】

演題：薬剤師・薬局・薬学教育の方向と、OTC の活用など地域住民の健康サポート、セルフケア ・ セルフメディケーションの推進などについて

演者：磯部 総一郎（日本OTC 医薬品協会）

座長：越前 宏俊（明治薬科大学）

LS-2 D会場（104講義室）11：30～12：30

【協賛企業：株式会社 博報堂メディカル】

演題：薬学の専門知識で医療広告プロモーションを変えられるのか？

演者：遠藤 直美、後藤 誠（株式会社 博報堂メディカル）

座長：櫛山 暁史（明治薬科大学）

LS-3 G会場（205講義室）11：30～12：30

【協賛企業：太陽ファルマ株式会社】

演題：術後の悪心嘔吐に対するグラニセトロン塩酸塩注射剤の適応拡大

演者：中條 ひろ子（太陽ファルマ株式会社 戦略企画部）

座長：廣瀬 誠（明治薬科大学）

LS-4 J会場（208講義室）11：30～12：30

【協賛企業：株式会社 堀場製作所】

演題：ナノ製剤の品質評価基盤を支える粒子径評価技術

演者：植田 圭祐（千葉大学大学院薬学研究院）

座長：深水 啓朗（明治薬科大学）

LS-5 K会場（305講義室）11：30～12：30

【協賛企業：日本調剤株式会社】

演題：フォーミュラリー 作成・教育の支援 ツール「FINDAT」について

演者：増原 慶壮（日本調剤株式会社 FINDAT事業部）

座長：大野 恵子（明治薬科大学）

LS-6 N会場（308講義室）11：30～12：30

【協賛企業：MIフォース株式会社】

演題：薬学生のこれからのキャリアを考える 番外編

演者：本庄 祐樹、森光 由依、牧野 佳子（MIフォース株式会社）

座長：前田 英紀（明治薬科大学）

VI. 一般演題 口頭発表

化学系①：A会場（101 講義室）9:00～10:00

座長： 牧野 宏章（武蔵野大薬）

加藤 恵介（東邦大薬）

- A-01 炭素-窒素軸不斉ラクタムおよびチオラクタムを用いるジアステレオ選択的 α -アルキル化反応
○坂上達紀、松井綾佑、北川理（芝浦工大工）
- A-02 ジスピロエポキシ構造の合成とその反応性の検討
○山口隼人¹、横江弘雅^{1,2}、叶直樹^{1,2}（¹星薬大薬、²星薬大医薬研）
- A-03 アルコールを活性化剤とするアライン発生法の開発
○四方大暉、伊藤元気、樋口和宏、杉山重夫（明治薬大）
- A-04 光励起によるニトロアレーン還元法の開発とニトロソ Diels-Alder 反応への応用
○金子泰己、岡村俊孝、佐藤隆章（慶應大理工）
- A-05 NAPI を用いた触媒的酸素付加型アミノヒドロキシ化反応の開発
○菊本准之介、山本大介、星野純一、大庭有紀子、牧野一石（北里大薬）

化学系②：A会場（101 講義室）10:15～11:15

座長： 嶋田 修之（日大文理）

北川 理（芝浦工業大工）

- A-06 イナミドから生じるルテニウムビニリデン種を基盤としたアゼピノインドール合成法
○新島裕樹、田湯正法、黒沢匡貴、渡邊隆太、大類彩、齋藤望（明治薬大）
- A-07 0 価ニッケル触媒による 2,3-ビスシリルシクロプロパノンと 1,6-ジインの付加環化反応の開発
○佐藤佑紀、八木聡士、大類彩、田湯正法、齋藤望（明治薬大）
- A-08 光レドックス/スルフィド協働触媒系によるスチレンのオキシアルキル化を利用したフラン環構築法の開発
○松隈翔路、田湯正法、大類彩、齋藤望（明治薬大）
- A-09 銀ナイトレン種を用いた位置選択的な C-H アミノ化反応の開発
○神田治樹、小林真由、原田慎吾、根本哲宏（千葉大院薬）
- A-10 キラルホルミウム触媒による四置換炭素構築型不斉 Diels-Alder 反応
○稲葉万里彩¹、關野詩穂里²、根本哲宏²、荒井秀²、原田真至^{2,3}
（¹千葉大薬、²千葉大院薬、³千葉大国際高等研究基幹）

化学系③：B会場（102 講義室）9:00～10:00

座長： 根本 哲宏（千葉大院薬）

伊藤 元気（明治薬大）

- B-01 ボロン酸触媒を用いたアミノ酸エステルからのペプチド結合形成反応
○高橋愛梨¹、高橋那央也²、嶋田修之¹（¹日本大文理、²北里大薬）
- B-02 アンモニア水を用いた脱水縮合による第一級アミドの触媒的合成
○岩澤太陽¹、高橋那央也²、牧野一石²、嶋田修之¹（¹日本大文理、²北里大薬）
- B-03 クロロアルケン型ジペプチドイソスターの新規合成法の開発とその応用研究
○山本賢一、小早川拓也、東知佳、辻耕平、玉村啓和（医科歯科大生体材料工学研）
- B-04 カチオン性環状ペプチドを導入した Ir(III)錯体-ペプチドハイブリッドの設計・合成及び生物活性評価

○成島希海¹、小山田有沙¹、横井健汰¹、青木伸² (¹東京理大院薬科学、²東京理大総研)

B-05 ビタミン D₃ 側鎖 26,27 位へのジフルオロ化およびテトラフルオロ化

○川越文裕¹、本谷小佑里¹、安田佳織²、真野寛生²、榊利之²、橘高 敦史¹
(¹帝京大薬、²富山県大工)

化学系④：B 会場 (102 講義室) 10:15~11:15

座長： 出水 陽介 (国立衛研)

田湯 正法 (明治薬大)

B-06 リゾホスファチジルセリン受容体 P2Y₁₀ に対する高活性アンタゴニスト・インバースアゴニストの開発

○大地勝利、上水明治、陳露瑩、中村翔、尾谷優子、青木淳賢、大和田智彦 (東大院薬)

B-07 Design and synthesis of selective GPR55 agonists based on the endogenous ligand

○梁圓媛、陳露瑩、上水明治、尾谷優子、青木淳賢、大和田智彦 (東大院薬)

B-08 核内移行性を示すポルフィリンの創製と構造活性相関の解明

○早川夏海¹、東條敏史²、近藤剛史^{1,3}、湯浅真^{1,3}

(¹東理大院創域理工、²東理大院薬、³東理大総研)

B-09 ポルフィリンを基盤とした新規 HDAC 阻害剤の創製

○佐久間隆広¹、東條敏史²、近藤剛史^{1,3}、湯浅真^{1,3}

(¹東京理大院創域理工、²東京理大薬、³東京理大総研)

B-10 ω 3 脂肪酸-ポルフィリン複合体の細胞内挙動の解明

○伊藤謙志¹、東條敏史²、近藤剛史¹、湯浅真¹ (¹東理大院創域理工、²東理大院薬)

化学系⑤：C 会場 (103 講義室) 9:00~10:00

座長： 玉村 啓和 (東京医科歯科大生材研)

須原 義智 (芝浦工大システム理工)

C-01 ODTAA 誘導体を基盤とした新規 MBL 阻害剤創製研究

○鈴木智博¹、池田朱里^{1,2}、本庄雅子²、野口吉彦^{1,2}、中里貴々¹、富山昂大¹、池谷佳紀¹、
浅見行弘^{1,2}、廣瀬友靖^{1,2}、砂塚敏明^{1,2} (¹北里大院感染制御、²北里大大村研)

C-02 オレキシン 1 受容体選択的拮抗活性を有する新規スピロインドノペリジン化合物の創製と構造活性
相関研究

○齋藤匠海¹、大類彩¹、粕谷駿介¹、高梨南風¹、曾我茉祐¹、藤野彩花¹、田湯正法¹、
杉原稔¹、石川有紀子²、入鹿山容子²、柳沢正史²、齋藤望¹ (¹明治薬大、²筑波大 WPI-IIIIS)

C-03 PROTAC への応用を志向した新規 E3 リガンドの探索

○高野玲奈^{1,2}、横尾英知²、大岡伸通²、大金賢司³、井上貴雄²、出水庸介^{1,2}

(¹横市大院生命医、²国立衛研、³お茶女理)

C-04 Wnt/ β -catenin シグナル経路阻害ペプチドの *in silico* 設計

○藤田陽^{1,2}、三澤隆史²、出水庸介^{1,2} (¹横浜市大院生命医科学、²国立衛研)

C-05 Brd4 分解誘導薬 MZ-1 を基盤とした三価 PROTAC 群の合成と評価

○三瓶茉莉菜¹、黄一帆²、横江弘雅^{1,3}、白葉賢太郎¹、平塚彩水¹、成田年¹、大竹史明^{1,4}、
叶直樹^{1,3}、(¹星薬大薬、²星薬大院薬、³星薬大医薬研、⁴星薬大先端研)

化学系⑥：C会場（103講義室）10:15～11:15

座長： 高橋 秀依（東京理大薬）

大類 彩（明治薬大）

- C-06 3CL プロテアーゼ阻害作用を有する menadione 誘導体の探索
○小原沢諒人、早川真由、廣田佳久、須原義智（芝工大院理工）
- C-07 HIV-1 外被タンパク質 gp41 を標的とする二価型膜融合阻害剤の創製
○西村壮史¹、小早川拓也¹、辻耕平¹、村上努²、玉村啓和¹
（¹医科歯科大生体材料工学研、²感染研エイズ研究セ）
- C-08 フッ素化及びチオアミド置換を活用した新規 SARS-CoV-2 メインプロテアーゼ阻害剤の創製
○篠原功紀¹、楢田伸好²、辻耕平¹、石井貴大¹、小早川拓也¹、服部真一郎²、岸本直樹³、高宗暢暁³、三隅将吾³、Haydar Bulut⁴、林宏典⁵、満屋裕明^{2,4}、玉村啓和¹
（¹医科歯科大生体材料工学研、²国立国際医療研セ、³熊本大院薬、⁴NCI/NIH、⁵東北大災害科学国際研）
- C-09 トリプチセン-ペプチドハイブリッドのパラト-シス誘導経路の解明
○新居真由香¹、山口晃平¹、成島希海¹、青木伸^{1,2}（¹東京理大院薬、²東京理大総研）
- C-10 IL-6 阻害活性作用を有する Amodiaquine 誘導体の設計・合成および活性評価
○大瀧正太郎¹、竹中洋平¹、田中智博¹、中村光希¹、横井健太¹、月本光俊^{1,2}、青木伸^{1,2,3}
（¹東京理大院薬、²東京理大総合研究院、³東京理大生命研）

化学系⑦：D会場（104講義室）9:00～10:00

座長： 廣瀬 友靖（北里大大村研）

松永 和磨（明治薬大）

- D-01 三環性セスキテルペノイド Lemnardosinane A の全合成研究
○早野双葉、小林豊晴、川本諭一郎、伊藤久央（東京薬大生命科学）
- D-02 (+)-Ganocin A の全合成
○益子智弥、眞貝祐多、加茂翔伍、杉田和幸（星薬大）
- D-03 新規ヒドロインドール骨格の合成法の開発と全合成への応用
○堤大洋、山上龍威、早川一郎（日本大院総合基）
- D-04 タラチサミンの AE 環部の不斉合成
○浅井響、萩原浩一、井上将行（東大院薬）
- D-05 グラミシジン A トリプトファン改変体の合成と機能向上
○右田貴大、薛賛唯、伊藤寛晃、井上将行（東大院薬）

化学系⑧：D会場（104講義室）10:15～11:15

座長： 小林 豊晴（東京薬大生命）

横屋 正志（明治薬大）

- D-06 環化-カルボニル化反応を用いた Urupocidin A の合成研究
○塚本拓也、岳天慈、村瀬菜月、染谷京花、坂田美蒔野、日下部太一、高橋圭介、加藤恵介（東邦大薬）
- D-07 Brianthein W への新規合成アプローチ
○荒井裕美、松永和磨、岸田敦、高取和彦（明治薬大）
- D-08 マラリア薬創製を志向した環状ペプチドのライブラリー構築法の確立

○吉岡修志¹、池田朱里^{1,2}、野口吉彦^{1,2}、上田あかり¹、林裕美¹、穂苅玲²、岩月正人^{1,2}、
廣瀬友靖^{1,2}、砂塚敏明^{1,2} (¹北里大院感染制御、²北里大大村研)

D-09 日本産地衣類の LC/MS による化学成分の分析と分類への応用

○清水玲亜¹、藤原恒司¹、坂田歩美²、原田浩²、木下薫¹ (¹明治薬科大、²千葉県中央博)

D-10 キク科植物 *Ageratum corymbosum* を用いた抗トリパノソーマ活性天然物の探索

○山内雄斗¹、西村壮央¹、植草義徳¹、嶋田淳子²、菊地晴久¹ (¹慶應大薬、²群馬大保)

化学系⑨：E 会場（105 講義室）9:00～10:00

座長： 穴田 仁洋（武蔵野大薬）

野地 匡裕（明治薬大）

E-01 パン酵母を利用する α -アミノ酸含有アニリドの触媒的加水分解反応

○大徳秀幸、野口拓也、佐藤真、川島裕也、今井信行（千葉科学大薬）

E-02 MA026 環化酵素を用いた化学酵素ハイブリッド合成法の開発

○田中美有¹、今野翔¹、田口晃弘¹、谷口敦彦¹、林良雄^{1,2} (¹東京薬大薬、²東京薬大生)

E-03 オルト-¹²C/¹³C 識別に基づく同位体アトロプ異性分子の合成

○千田龍之介、渡邊ゆうか、三輪翔太、北川理（芝浦工大工）

E-04 3 位窒素原子上に 2-ピリジル基を有する 4-キナゾリノン誘導体における炭素-窒素軸の回転挙動

○王煜翔、楊 玥、本間大貴、北川理（芝浦工大工）

E-05 1 置換 5*H*-dibenz[*b,f*]azepine の *N*-置換体における立体構造の制御

○山根光騎¹、中村佳代¹、田畑英嗣²、忍足鉄太²、夏苅英昭³、高橋秀依¹

(¹東京理大院薬、²帝京大薬、³東大薬)

物理系①：E 会場（105 講義室）10:15～11:03

座長： 張替 直輝（日大薬）

小谷 明（東京薬大薬）

E-06 D-グルタミンの生体内分布の解析

○安田伊吹、矢部智也、渡辺歩未、伊藤里恵、岩崎雄介、穂山浩（星薬大）

E-07 グルタチオン測定のための応答曲面法を用いた誘導体化条件の最適化

○山縣宗平、斎藤裕徳、伊藤里恵、岩崎雄介、穂山浩（星薬大）

E-08 応答曲面法による食品の試料前処理法に用いる QuEChERS 法の最適化

○蒲駿平、養田千夏、中里玲奈、伊藤里恵、岩崎雄介、穂山浩（星薬大）

E-09 キラルイミダゾリジノン環を有する LC-MS/MS 用カルボン酸誘導体化試薬によるヒト血清中有機酸の
分析

○海野真帆、坂本達弥、小野里磨優、福島健（東邦大薬）

物理系②：F 会場（106 講義室）9:00～10:00

座長： 草森 浩輔（東京理大薬）

鈴木 亮（帝京大薬）

F-01 生体膜の膜保護作用モデルに局所麻酔薬および抗うつ薬が与える影響

○堀住祐介、黒澤祐哉、高塚美和、槌田智裕、後藤了（東京理大薬）

F-02 FoldX および AlphaFold-Multimer を用いたタンパク質複合体の結合能の予測精度検証

○小保方瑠奈、清田泰臣、竹田一志鷹真由子（北里大薬）

- F-03 フェニトイン含有 coamorphous のスクリーニングと鼻粘液に対する溶解性の評価
○長友太希、入野玄暉、長澤花音、鈴木直人、鈴木豊史（日本大薬）
- F-04 多層錠が透過型低波数ラマン分光測定に与える影響と定量
○笠原礼央、井上元基、深水啓朗（明治薬大）
- F-05 PEG 修飾が doxorubicin 封入リポソームの薬物封入効率及び形態変化に及ぼす影響
○藤本泰輝、植田圭祐、東頭二郎、森部久仁一（千葉大院薬）

物理系③：F 会場（106 講義室）10:15～11:15

座長： 井上 裕（城西大薬）

古石 誉之（星薬大）

- F-06 リン脂質ポリマーを用いた薬物非晶質ナノ粒子化による吸収改善検討
○田村春樹、植田圭祐、東頭二郎、森部久仁一（千葉大院薬）
- F-07 溶液¹H NMR によるナノエマルジョン中の薬物封入状態の定量的評価
○富田紗枝子、砂塚祐志、植田圭祐、東頭二郎、森部久仁一（千葉大院薬）
- F-08 NMR 緩和時間測定による ritonavir 結晶多形・非晶質の局所構造評価
○鈴木雅人、植田圭祐、東頭二郎、森部久仁一（千葉大院薬）
- F-09 Physicochemical property evaluations of carvedilol adipate ethanol solvate and carvedilol succinate ethanol solvate
○叶 麗、内海洋平、古石誉之、山下雄史、米持悦生（星薬大）
- F-10 分子動力学計算を用いた Eudragit® E による薬物可溶性機構の解明
○齊藤智輝¹、植田圭祐¹、東頭二郎¹、奥脇弘次²、古石誉之³、福澤薫^{3,4}、米持悦生³、森部久仁一¹（¹千葉大院薬、²JSOL、³星薬大、⁴阪大院薬）

生物系①：G 会場（205 講義室）9:00～10:00

座長： 大畑 慎也（武蔵野大薬）

小川 泰弘（明治薬大）

- G-01 脳疾患関連遺伝子 TBC1D7 新規アイソフォームの解析
○土屋菜美、柳津茂慧、紀嘉浩（明治薬科大・病態 RNA 制御学）
- G-02 海馬リップルに伴う視覚皮質神経細胞の膜電位応答
○鮫島華¹、佐藤由宇^{1,2}、池谷裕二^{1,3}
（¹東大院薬、²東京女医大医、³Beyond AI 研究推進機構）
- G-03 コンドロイチン硫酸 E ユニット結合ペプチドの *In vitro* 脊髄損傷モデルでの神経再生
○永井美羽、木村将大、佐藤淳（東京工科大院バイオ・情報メディア研究科）
- G-04 *In vitro* 脊髄損傷モデルでのアルブミン融合により増強するヒトラクトフェリンの神経再生
○東城絢音、永井美羽、木村将大、佐藤淳（東京工科大院バイオ・情報メディア研究科）
- G-05 アルブミン融合ヒトラクトフェリンを発現する CHO 細胞用無血清培地
○川俣大空、栗本大輔、木村将大、佐藤淳（東京工科大院バイオ・情報メディア研究科）

生物系②：G 会場（205 講義室）10:15～11:03

座長： 東 伸昭（星薬大）

佐藤 淳（東京工科大）

- G-06 アルブミン融合ヒトラクトフェリンの新たな抗ガン作用—Na⁺/H⁺交換体7活性化によるオルガネラ pH

の上昇—

○栗本大輔、トルンディン ハウエーアン、佐藤淳
(東京工科大院バイオ・情報メディア研究科)

G-07 RNA ヘリカーゼ DDX5 の発現誘導機構および機能の解析

○奥田健仁¹、武田健吾¹、多胡憲治²、多胡めぐみ¹ (¹慶應大薬、²群馬大保健)

G-08 カンプトテシン誘導体 FL118 が示す抗腫瘍活性機序の解析

○武田健吾¹、中澤洋介¹、多胡憲治²、多胡めぐみ¹ (¹慶應大薬、²群馬大保健)

G-09 5-FU 耐性機構としてのチミジル酸シンターゼによる 5-FU 活性代謝体 FdUMP の捕捉・蓄積・分解システムの解明

○西澤菜々、倉坂知夏、佐藤聡 (東京理大院薬・生化学分子生物学)

生物系③：H 会場 (206 講義室) 9:00~10:00

座長： 市川 智恵 (湘南医療大薬)

柳津 茂慧 (明治薬大)

H-01 RNA エキソソーム相互作用因子 SPF30 のテロメラーゼ RNA 生合成における機能解析

○宮尾宗太郎、泉川桂一、長浜正巳 (明治薬大)

H-02 AAA-ATPase NVL2 による WDR74 モジュールおよび核小体 GTPase GNL3/Nucleostemin のリボソーム生合成における機能制御

○廣岡侑也、手塚千聖、泉川桂一、長浜正巳 (明治薬大)

H-03 核小体因子 NPM1 は酸化ストレス応答遺伝子 *GCLC* の発現を制御する

○持田瑞巴、奥脇暢 (北里大院薬)

H-04 白血病でみられる融合タンパク質 DEK::NUP214 による転写制御機構

○橋本拓磨、齋藤祥子、奥脇暢 (北里大院薬)

H-05 セラミドキナーゼ発現量制御機構の解明

○中島志門、宇津美秋、本田拓也、中村浩之 (千葉大院薬)

生物系④：H 会場 (206 講義室) 10:15~11:03

座長： 奥脇 暢 (北里大薬)

荒木 信 (明治薬大)

H-06 DHX9 による相同組換え修復促進機構の解明

○土屋唯菜¹、池亀颯稀¹、松谷咲采¹、阿部友理菜²、西良太郎^{1,2}

(¹東京工科大院バイオニクス、²東京工科大応用生物)

H-07 麻子仁丸の瀉下作用メカニズムの解析

○出口真優¹、今理紗子¹、原田由美²、藤塚直樹²、最上祥子²、五十嵐信智¹、酒井寛泰¹、
細江智夫¹ (¹星薬大、²(株) ツムラ)

H-08 AAV ベクターの脳移行性評価における *in vitro* ヒト不死化細胞血液脳関門モデルの有用性検証

○磯貝隆斗¹、森尾花恵¹、田中佳典²、岡本幸子²、降幡知巳¹

(¹東京薬大薬、²タカラバイオ基盤技術開発セ)

H-09 蛍光 HPLC を用いた KRAS 活性化状態 *in vivo* アッセイ法の構築

○荒木信、吉本果穂、粕谷幸花、紺谷圈二 (明治薬大)

生物系⑤：I 会場 (207 講義室) 9:00~9:48

座長： 山口 憲孝（千葉大薬）

山室 大介（明治薬大）

I-01 カロリー制限の新規経路 GH/IGF-1-independent signaling の解明

○大谷結菜¹、野崎優香¹、水之江雄平¹、小林正樹²、樋上賀一^{1,3}

（¹東京理大薬、²お茶大基研院、³東京理大生命研）

I-02 遺伝子発現解析による高脂肪食過食ゼブラフィッシュモデルを用いた耐糖能維持機構の解明

○小西尚子¹、石井謙介²、櫻田優美²、叶昊璋²、梶原理希²、殿城亜矢子²、溝口貴正²、伊藤素行²（¹千葉大薬、²千葉大院薬）

I-03 時計遺伝子 *Bmal1* による脾機能調節

○鈴木宙夢、北浦慧、高杉幸子、和田平、榛葉繁紀（日本大薬）

I-04 時計遺伝子 *Bmal1* によるマクロファージ機能の制御とその破綻によるメタボリックシンドロームの増悪化

○西牧薫穂、高杉幸子、和田平、榛葉繁紀（日本大薬）

生物系⑥：I 会場（207 講義室）10:00～10:48

座長： 多田 周右（東邦大薬）

中館 和彦（明治薬大）

I-05 時計遺伝子 *Bmal1* による脂肪細胞機能調節

○石井宏剛、北浦慧、高杉幸子、和田平、榛葉繁紀（日本大薬）

I-06 MIPEP はミトコンドリア恒常性を維持し脂肪細胞分化を制御する

○石松万未子¹、野崎優香¹、水之江雄平¹、小林正樹²、樋上賀一^{1,3}

（¹東京理大薬、²お茶大基研院、³東京理大生命研）

I-07 LPA 刺激による脂肪細胞分化への影響の解析

○吉田卓真、南須原杏律、高倉勇気、石川千夏、高野博之、山口憲孝（千葉大院薬・分子心血管薬理学）

I-08 転写共役因子 VGLL3 による PGC-1 α 発現を介した筋線維型変化の解析

○大石まい、高倉勇気、高野博之、山口憲孝（千葉大院薬・分子心血管薬理学）

生物系⑦：J 会場（208 講義室）9:00～9:48

座長： 殿城亜矢子（千葉大薬）

浦辺 宏明（明治薬大）

J-01 Papain 及びタバコ主流煙共曝露マウスの気道炎症におけるフェロトーシスの関与

○木村元気、安藤大稀、開沼郁美、佐藤しおり、田上愛、福井里菜、宮坂知宏（日本大薬）

J-02 ネクローシスをアポトーシスにスイッチする長鎖非コード RNA の解析

○三好哲也、佐藤聡（東京理大院薬・生化学分子生物学）

J-03 ミトコンドリアタンパク質 C15ORF48 による Mitophagy の抑制

○河村星香、高倉勇気、勝見優香、高野博之、山口憲孝（千葉大院薬・分子心血管薬理学）

J-04 シアン解毒における相同的硫黄転移酵素 2 種の異なる役割

○神保亮太、渋谷海、清水萌瑞、星井瑛介、篠塚大輝、梶原若、蘭光健人、赤星軌征、石井功（昭和薬大）

生物系⑧：J 会場（208 講義室）10:00～10:48

座長： 赤星 軌征（昭和薬大）

森田 雄二（明治薬大）

J-05 自然免疫系の刺激によるヒト表皮がん細胞の IL-1 α 選択的分泌機構

○杉浦結衣、野溝航太、櫛山瞭、田中汐里、高野博之、山口憲孝

（千葉大院薬・分子心血管薬理学）

J-06 抗マラリア薬 Amodiaquine とその誘導体による TLR 刺激誘導 IL-6 産生の抑制効果

○竹中洋平、田中智博、横井健汰、大瀧正太郎、内海文彰、北畠和己、青木伸、月本光俊

（東京理大院薬）

J-07 老化による記憶低下への自然免疫系の関与

○柳原碧¹、星桃子¹、小貫ことみ²、伊藤素行²、殿城亜矢子²（¹千葉大薬、²千葉大院薬）

J-08 ヒスタミン H₁ 受容体を介した MAP キナーゼ活性化機構

－G_q 蛋白質とアレスチンによる二重制御機構－

○尾上綾亮、永田彩華、道永昌太郎、小川泰弘、菱沼滋（明治薬大）

環境・衛生系①：K 会場（305 講義室）9:00～9:48

座長： 榛葉 繁紀（日本大薬）

月村 孝宏（明治薬大）

K-01 代謝型グルタミン酸受容体 1 を介した MK-4 による神経分化機構の評価

○呉雨馨¹、米谷優里²、早川真由¹、廣田佳久^{1,2}

（¹芝浦工大院・創薬科学、²芝浦工大・生命科学）

K-02 脳変性疾患治療を目指した共役構造を導入したビタミン K 誘導体の生体内動態の解析

○渡邊莉菜¹、佐藤大輝¹、村田昂平¹、神田奈那²、須原義智^{1,2}、廣田佳久^{1,2}

（¹芝浦工大院・創薬科学、²芝浦工大・生命科学）

K-03 ビタミン K 代謝機構の包括的理解に向けた Menadione の網羅的測定

○田上晋太郎¹、富岡涼²、鎌尾まや³、西川美宇⁴、生城真一⁴、廣田佳久^{1,2}

（¹芝浦工大院・創薬科学、²芝浦工大・生命科学、³神戸薬大薬、⁴富山県大工）

K-04 ビタミン K 誘導体を用いた UBIAD1 変換機能の評価

○村田昂平¹、中川胡桃²、小原沢諒人¹、須原義智^{1,2}、廣田佳久^{1,2}

（¹芝浦工大院・創薬科学、²芝浦工大・生命科学）

環境・衛生系②：K 会場（208 講義室）10:00～10:48

座長： 廣田 佳久（芝浦工業大システム理工）

進藤佐和子（明治薬大）

K-05 マウス精巣毒性の非侵襲的評価法の開発

○横田理、菅康佑、北嶋聡（国立衛研・毒性）

K-06 体内時計システムの破綻は水代謝異常を誘発する

○北浦慧、石井宏剛、高杉幸子、和田平、榛葉繁紀（日本大薬）

K-07 芳香族炭化水素ベンゾ[a]ピレンによる NASH 発症抑制機構の解明

○竹島幸亮、和田平、榛葉繁紀（日本大薬）

K-08 Aryl hydrocarbon receptor による脂質代謝調節を介した全身のエネルギー代謝制御

○丸山夏奈、石井宏剛、高杉幸子、和田平、榛葉繁紀（日本大薬）

環境・衛生系③：L会場（306 講義室）9:00～9:48

座長： 月本 光俊（東京理大薬）

桑田 浩（昭和大薬）

L-01 地球環境問題に対する微生物学的アプローチ

○角山広樹¹、篠田典子¹、渡邊峰雄^{1,2,3}（¹日本薬大、²日本薬大院、³Hanzendon 学芸研）

L-02 敗血症の病態形成におけるプロスタサイクリン合成酵素の機能解析

○本沢駿弥、落合翔、桑田浩、原俊太郎（昭和大薬）

L-03 Ras アイソフォームによる抗アポトーシス作用の相違

○佐々木匠¹、多胡憲治²、多胡めぐみ¹（¹慶應大薬、²群馬大保健）

L-04 がん細胞の放射線細胞応答における浸透圧変化が与える影響の解明

○木下碧、北畠和己、月本光俊（東京理大院薬）

環境・衛生系④：L会場（306 講義室）10:00～10:48

座長： 多胡めぐみ（慶應大薬）

鈴木 俊宏（明治薬大）

L-05 肺がん細胞におけるプリン受容体活性制御による放射線障害強度コントロール法の検討

○竹林万由子、北畠和己、月本光俊（東京理大院薬）

L-06 肺がん細胞での放射線誘発細胞遊走能亢進に対する選択的セロトニン再取り込み阻害薬の抑制効果

○鈴木杏奈、北畠和己、月本光俊（東京理大院薬）

L-07 悪性黒色腫における ADP 受容体遮断薬による放射線増感効果

○溝口湧真、森夏樹、北畠和己、月本光俊（東京理大院薬）

L-08 放射線照射により放出される細胞外因子による細胞運動能亢進への P2X7-RAGE の関与

○關紘夢、北畠和己、田沼靖一、月本光俊（東京理大院薬）

医療系①：M会場（307 講義室）9:00～10:12

座長： 宮田 佳樹（帝京大薬）

道永昌太郎（明治薬大）

M-01 アクセサリータンパク質による Slc16a6/MCT7 機能制御

○樋口慧、國枝美里、岸本久直、井上勝央（東京薬大薬）

M-02 機能性配列を有する GLP-1 誘導体は神経細胞を乗り継いで移行し、神経変性を抑える

○梅谷晴香、高木満里奈、手塚綾乃、秋田智后、山下親正（東京理大薬・DDS・製剤設計学）

M-03 細胞内へのミトコンドリア導入による神経細胞の機能向上

○近藤百萌¹、草森浩輔¹、板倉祥子¹、小林正樹²、樋上賀一¹、西川元也¹

（¹東京理大薬、²お茶女大院）

M-04 がん幹細胞の非対称分裂を起点としたがん組織不均一性獲得機構の解明

○葛西隆広¹、多森翔馬¹、高崎湧太¹、佐々木和教²、大野茂男²、秋本和憲¹

（¹東京理大薬、²順天堂大老人性疾患病態治療セ）

M-05 上衣腫の原因となる NF- κ B 活性化を阻害する医薬品の作用機序解明

○中尾英嘉¹、石井雅樹^{2,3}、大畑慎也^{1,2,3}（¹武蔵野大院薬科、²武蔵野大薬研、³武蔵野大薬）

M-06 バイオマスを含む各種植物由来ナノ粒子の調製および生理活性の評価

○宮城千穂、佐々木大輔、板倉祥子、草森浩輔、西川元也（東京理大薬）

医療系②：M会場（307 講義室）10:24～11:12

座長： 山田 安彦（東京薬大）

井上 岳（北里大薬）

M-07 SGLT2 阻害薬の使用実態調査

○吉田真刀¹、鯉沼卓真^{1,2}、酒井良子¹、赤沢学¹（¹明治薬大、²東京薬大薬）

M-08 関節リウマチ患者の生物学的製剤在宅自己注射に関する医療経済評価

○高畑和彦、前田唯、酒井良子、赤沢学（明治薬大）

M-09 Vancomycin 使用患者における急性腎障害が院内死亡率に及ぼす影響

○広瀬詞菜¹、村上修太郎^{1,2}、赤沢学¹（¹明治薬大、²多摩総合医療センター薬）

M-10 頭痛およびヘルスリテラシーの評価スコアを用いた頭痛患者の特性分析

○近藤慎吾^{1,2}、藤本卓磨¹、岩田紘樹^{1,2}、小林典子^{1,2}、中村友紀¹、山浦克典^{1,2}
（¹慶應大薬、²慶應大薬附属薬局）

医療系③：N会場（308 講義室）9:00～10:00

座長： 宮嶋 篤志（明治薬大）

鈴木 豊史（日本大薬）

N-01 脂溶性抗がん剤の細胞膜透過性に対するムチン型糖鎖の影響

○岸本久直、伊勢大地、鈴木彩佳、宮崎歌織、樋口慧、井上勝央（東京薬大薬）

N-02 コプロポルフィリン I の動物 PBPK モデルを用いた体内動態解析

○永田莞奈、葛西航貴、友田有加菜、吉門崇、千葉康司（横浜薬大）

N-03 修正エタノール注入法により調製した mRNA リポプレックス投与後のマウスにおけるタンパク質発現および抗体産生の評価

○唐 敏、服部喜之（星薬大・分子薬剤学）

N-04 脳梗塞急性期に対するコハク酸エチルメチルヒドロキシピリジンの非侵襲的な経鼻的治療アプローチ

○柳原圭佑¹、福田光良²、長友太希¹、鈴木直人¹、鈴木豊史¹
（¹日本大薬、²国際医福大福岡薬）

N-05 超音波応答性ナノバブルと低周波集束超音波を用いた脳組織への部位選択的遺伝子デリバリーシステムの基礎的検討

○山口泰暉¹、高橋葉子^{1,2}、長浜健²、沼澤西洋²、根岸洋一^{1,2}
（¹東京薬大院薬、²東京薬大薬）

医療系④：N会場（308 講義室）10:15～11:15

座長： 井上 元基（明治薬大）

森部久仁一（千葉大薬）

N-06 イオン液体を適用したエトドラクの経鼻投与後における脳内炎症の抑制効果

○谷川寛明、鈴木直人、鈴木豊史（日本大薬）

N-07 患者の利便性を考慮したレバミピド含有口腔粘膜炎症治療剤の開発

○溝淵千里¹、石井直子²、河野弥生¹、廣瀬香織¹、花輪剛久¹
（¹東京理大院薬、²柏市立柏病院薬剤科）

N-08 難水溶性薬物固体分散体の調製と評価

○小澤歩奈、小田馨、廣瀬香織、花輪剛久（東京理大院薬）

N-09 吸入粉末剤の処方最適化における遺伝的アルゴリズムの適用

○足立侑駿¹、黒川雄大¹、橋本千佳¹、中井悠太²、丹下耕太²、秋田智后¹、山下親正¹

(¹東京理大薬・DDS・製剤設計学、²日油 DDS 研)

N-10 温度応答性高分子を利用した潰瘍性大腸炎治療用注腸剤の開発

○八反田恵菜、吉河美季、村田大貴、廣瀬香織、花輪剛久（東京理大院薬）

VII. 一般演題 ポスター発表(8:30~10:00 の間に掲示して下さい)

説示時間ポスター番号 奇数 16:40~17:20

偶数 17:20~18:00

ポスター会場 P 会場 (厚生棟 3 階多目的大講義室)

P-001 アントラセンを導入したBis(2-picoly)amine誘導体 - 亜鉛錯体のDNA光切断活性

○市丸嘉¹、加藤紘一¹、栗原正明¹、黒崎博雅² (¹湘南医療大薬、²金城学院大薬)

P-002 インドール環上におけるアルキル基転位反応に関する研究

○中島康介、工藤夕加、松島恭征、平島真一、三浦剛 (東京薬大薬)

P-003 ルテニウムヒドリド錯体と水素受容体を用いたアルコールの触媒的脱水素反応の開発

○越智政希¹、小宮雄太郎¹、藤井愛奈¹、牧野宏章^{1,2}、末木俊輔^{1,2}、穴田仁洋^{1,2}
(¹武蔵野大薬、²武蔵野大薬研)

P-004 セスタテルペンBipolarolide Aの炭素骨格構築のための合成研究

○西田陽一朗、橘川英輝、川本諭一郎、小林豊晴、伊藤久央 (東京薬大生命科学)

P-005 Paralemnolin Aの全合成

○稲葉奈々子¹、野村茉由¹、小倉佑太²、森屋亮平¹、川本諭一郎²、小林豊晴²、阿部秀樹¹、
伊藤久央² (¹日本女大理、²東京薬大生命科学)

P-006 2-アルキニル第一ベンズアミドの環化 - カルボニル化反応

○岳天慈、塚本拓也、小林弘汰、榎本祐吾、冨塚謙太郎、吉川晶子、東屋功、
日下部太一、高橋圭介、加藤恵介 (東邦大薬)

P-007 新規複合官能基型不斉有機分子触媒の開発

○太田輝之、酒井創生、木村真也、山中正道、横屋正志 (明治薬大)

P-008 トレハロースから誘導される両親媒性分子の合成とゲル化能評価

○佐藤奎太、木村真也、横屋正志、山中正道 (明治薬大)

P-009 環状及び直鎖状モノウレアのゲル化能評価

○君島仙晃、木村真也、横屋正志、山中正道 (明治薬大)

P-010 三回対称トリスウレアによる成形可能な超分子ヒドロゲルの開発

○石井恵、木村真也、横屋正志、山中正道 (明治薬大)

P-011 カンバタケ (*Piptoporus betulinus*) CHCl₃ 抽出エキスのBACE1阻害活性物質の探索

○山口剛賢、櫻井百恵、清水玲亜、佐々木寛朗、木下薫 (明治薬大)

P-012 放射線障害の抑制を指向した植物成分の探索

○澁谷和希、大越一輝、篠崎優里奈、北畠和己、月本光俊、羽田紀康 (東理大薬)

P-013 (+)-Monocillin II の全合成

○小梶直輝、石倉成、加茂翔伍、松澤彰信、杉田和幸 (星薬大)

P-014 電気化学的な手法を用いたポルフィリンのアシロキシ化反応

○林真衣、林 賢、野地匡裕、渡邊惟、高波利克 (明治薬大)

P-015 安定なホウ酸エステルを α -位にもつベンズアルデヒドの合成及び応用

○川瀬倅大、林 賢、野地匡裕 (明治薬大)

- P-016 電解発生酸を触媒として用いたテトラヒドロキノリン合成法の開発
○前田翔、林 賢、野地匡裕（明治薬大）
- P-017 電解発生酸触媒を用いるアリルアルコールの脱水的エーテル反応
○中山祐希、林 賢、野地匡裕（明治薬大）
- P-018 無金属ポルフィリンの *meso* 位選択的な電気化学的シアノ化反応
○水沼彩音、林 賢、野地匡裕、高波利克（明治薬大）
- P-019 保護基を用いない boscartin A 及び H の不斉全合成
○相原広杜、幸内大輔、笠松暁輝、白岩潤也、松澤彰信、加茂翔伍、杉田和幸（星薬大）
- P-020 ジクロロアセトフェノンへのチオール求核付加反応の検討
○澤田千穂¹、中村佳代¹、牧野宏章²、田畑英嗣³、忍足鉄太³、夏莉英昭⁴、高橋秀依¹
（¹東京理大薬、²武蔵野大薬、³帝京大薬、⁴東大薬）
- P-021 キンポウゲ科植物の化学成分（41） *Helleborus argutifolius* 全草のステロイド配糖体と腫瘍細胞毒性
○野崎和季、吉澤由佳、横須賀章人、三巻祥浩（東京薬大薬）
- P-022 銀カルベンを用いたインドール類のベンゼノイド部位の脱芳香族型シクロプロパン化反応の開発
○富田啓輔、植田潤、原田慎吾、根本哲宏（千葉大院薬）
- P-023 細胞内滞留型カルボキシエステラーゼ活性検出蛍光プローブの開発
○坂巻李海、渡邊幸大、井上英史、林良雄、藤川雄太（東京薬大生命）
- P-024 側鎖22位へのジフルオロ部位導入法の開発と22,22-ジフルオロビタミンD₃誘導体の合成
○本谷小佑里¹、川越文裕¹、安田佳織²、真野寛生²、榊利之²、橘高敦史¹
（¹帝京大薬、²富山県大工）
- P-025 アヤメ科 *Iris florentina* 地下部の化学成分と終末糖化産物生成阻害活性
○藤田奈那、横須賀章人、三巻祥浩（東京薬大薬）
- P-026 細胞内の鉄動態制御の解明を目指した鉄キレーターの開発
○山田侑奈、林良雄、藤川雄太（東京薬大生命）
- P-027 リュウゼツラン科植物の化学成分（31） *Yucca gloriosa* の化学成分と腫瘍細胞毒性について
○及川華奈、横須賀章人、三宅克典、三巻祥浩（東京薬大薬）
- P-028 Shodoamide C の合成研究
○植木翔梧¹、平田晃大¹、岩堀雅大¹、大城太一¹、供田洋¹、内田龍児²、長光亨¹、大多和正樹¹
（¹北里大薬、²東北医薬大薬）
- P-029 RU679の合成研究
○鎌塚早紀¹、李大葵¹、内田龍児²、長光亨¹（¹北里大薬、²東北医薬大薬）
- P-030 ユリ科植物の化学成分（93） オウゴンオニユリ *Lilium lancifolium* var. *flaviflorum* の化学成分（2）
○羽賀淳貴、横須賀章人、赤岩玲奈、松尾侑希子、三宅克典、三巻祥浩（東京薬大薬）
- P-031 Dinapinone A1およびA2の合成研究
○植野あゆみ¹、李大葵¹、有馬志保¹、大城太一¹、内田龍児²、供田洋¹、長光亨¹
（¹北里大薬、²東北医薬大薬）
- P-032 Development of Dearomative Arene Cyclopropanation Reaction with Iron-porphyrin Carbene
○戴奇彤、植田潤、原田慎吾、根本哲宏（千葉大院薬）
- P-033 アビエチン酸を用いた環骨格再構築戦略に基づく中分子化合物群の創出
○小林史明、西村壮央、菊地晴久（慶應大薬）

- P-034 金触媒を利用したベンゾ[1,2-*b*:5,4-*b'*]ジフラン類の合成
○森田延嘉、佐々木茜梨、千秋妃美、橋本善光、田村修（昭和薬大）
- P-035 シリカゲルを用いたアライン発生法によるカゴ状オリゴシルセスキオキサン誘導体の修飾
○小田竜平、伊藤元気、庄司朱里、樋口和宏、杉山重夫（明治薬大）
- P-036 π -アリルパラジウム錯体を用いたハイブリッドイソプレノイドの合成研究
○田邊歩夢、本間大智、都築明日香、伊藤元気、樋口和宏、杉山重夫（明治薬大）
- P-037 Through-space-couplingによるトリフルオロアセトアミドのコンホメーション解析
○渡邊葵月¹、李 岩¹、大竹千夏¹、田畑英嗣²、平野桐子³、中村佳代¹、牧野宏章⁴、忍足鉄太²、夏莉英昭⁵、楠見武徳⁶、高橋秀依¹（¹東理大薬、²帝京大薬、³ブルカージャパン(株)、⁴武蔵野大薬、⁵東大薬、⁶東工大理）
- P-038 Moverastin 誘導体の合成研究（2）
○ 原和基、森田景亮、細谷亮太、樫原芽依、赤木祐介、小松俊哉（帝京平成大薬）
- P-039 HPTLC identification in ensuring quality of Valeriana fauriei Radix
○S. Sekiguchi¹, K. Imai¹, E. Reich² and T. Do³
（¹ASK Intercity Co., Ltd、²HPTLC Association、³CAMAG）
- P-040 L-Digitoxosyl-phenanthroviridinの全合成と活性評価
○清水皓基、岩崎絵理佳、清水芳実、赤木祐介、小松俊哉（帝京平成大薬）
- P-041 Menkes病治療薬の開発
○田村純菜¹、中野深祥¹、高橋美乃¹、中村佳代¹、牧野宏章²、田畑英嗣³、忍足鉄太³、夏莉英昭⁴、伊藤清美²、高橋秀依¹（¹東理大薬、²武蔵野大薬、³帝京大薬、⁴東大薬）
- P-042 リン酸モノエステルの触媒的加水分解を目的とした両親媒性超分子触媒の設計と合成
○野本彩音¹、岡本紘知¹、青木伸^{1,2,3}
（¹東京理大院薬、²東京理大総合研究院、³東京理大生命研）
- P-043 ドナー／アクセプター型チオガラクトシドを用いる環状オリゴ糖のOne- Pot合成と精製法の改良
○山田竜也¹、石上剛大¹、染谷英寿¹、青木伸^{1,2,3}
（¹東京理大院薬、²東京理大総合研究院、³東京理大生命研）
- P-044 可視光と有機触媒を用いた不斉N-H挿入反応の開発
○古谷茉衣花、原田慎吾、根本哲宏（千葉大院薬）
- P-045 GGXX阻害活性を有するビタミンK誘導体の探索
○宇佐美昂紀¹、Xuejie Chen²、Jian-Ke Tie²、須原義智¹
（¹芝浦工大創薬、²ノースカロライナ大生物）
- P-046 肝細胞がん増殖抑制作用を示す新規非環式レチノイド誘導体の創製
○廣川直希¹、水野司麻¹、利根川滉太²、田中紀圭²、矢嶋伊知朗²、須原義智¹
（¹芝浦工大創薬、²芝浦工大分子細胞毒性）
- P-047 銀ナイトレン種を用いた鎖状アミドにおけるアミド挿入反応の開発
○松本ゆきの¹、神田治樹²、小林真由²、原田慎吾²、根本哲宏²（¹千葉大薬、²千葉大院薬）
- P-048 Epipyridone および fusaricide の合成研究
○河井蓮、平井潤也、李大葵、長光亨（北里大薬）
- P-049 リパーゼ触媒を用いたアシル化・脱アシル化の利用
○須貝威、橋本理一、花屋賢悟、東林修平（慶應大薬）

- P-050 クラスD β -ラクタマーゼ特異的阻害剤 JBIR-155 の合成研究
○吉田慶季、西村壮央、菊地晴久（慶應大薬）
- P-051 2-(2-テトラゾール-2-イルエチル)-1 α ,25(OH)₂-19-ノルVD₃の合成と代謝
○高野真史¹、安田佳織²、真野寛生²、榊利之²、橘高敦史¹（¹帝京大薬、²富山県大工）
- P-052 Celludinone B の合成研究
○白木駿也、佐藤友香、長光亨、大城太一、供田洋（北里大薬）
- P-053 テトラアリアルスクシノニトリル誘導体の新規合成法の開発
松永和磨、○塚山拓海、岸田敦、高取和彦（明治薬大）
- P-054 同位体ラベル化5-アミノレブリン酸の効率的合成法とその応用
○青山洋史¹、飯塚佑介¹、河西遼大²、柴富一孝^{2,3}、荒川優樹²、辻秀人²、
広瀬侑²、三島正規¹（¹東京薬大薬、²豊橋技科大院工、³豊橋技科大IRES²）
- P-055 焙煎時間によるコーヒーの抗炎症作用および含有成分の変化
○篠田悠司¹、芝端和紀¹、古旗賢二²、多胡憲治¹、多胡めぐみ¹
（¹慶應大薬、²城西大薬、³群馬大院保）
- P-056 酸化のカップリング反応によるトリプトファン含有ペプチドの化学修飾
○花屋賢悟、渡邊俊佑、東林修平、須貝威（慶應大薬）
- P-057 フェンタニル誘導体の構造活性相関
○坂田遥佳¹、有田浩暢¹、菊川俊太郎¹、富澤宰¹、中村佳代¹、牧野宏章²、田畑英嗣³、
忍足鉄太³、夏莉英昭⁴、船田正彦⁵、高橋秀依¹
（¹東京理大薬、²武蔵野大薬、³帝京大薬、⁴東大薬、⁵湘南医療大薬）
- P-058 キノコ子実体抽出エキス成分の光を用いた物質変換
○大塚捷斗、佐々木寛朗、木下薫（明治薬大）
- P-059 両親媒性ビスウレアの自己集合による超分子ヒドロゲルの形成
○石井未菜美、木村真也、横屋正志、山中正道（明治薬大）
- P-060 クルクミン含有共結晶の過酷条件下における物理的安定性の比較
○宮崎結衣、鈴木直人、高久知矩、長友太希、鈴木豊史（日本大薬）
- P-061 製造法が固体脂質ナノ粒子のキャラクタリゼーションに及ぼす影響
○高梨夏実、鈴木直人、大塚裕子、内藤一樹、長友太希、鈴木豊史（日本大薬）
- P-062 凍結噴霧乾燥法によるメロキシカムを含む固体脂質ナノ粒子の調製
○大塚裕子、鈴木直人、高梨夏実、内藤一樹、長友太希、鈴木豊史（日本大薬）
- P-063 ラマン分光法を用いた培養液中グルコース及び乳酸の定量モデル開発
○山田桃佳¹、佐藤匠¹、久田浩史¹、小出達夫²、深水啓朗¹（¹明治薬大、²国立衛研）
- P-064 低分子ペプチド薬の共結晶スクリーニング
○青木悠真、伯遼太郎、内田遥翔、深水啓朗（明治薬大）
- P-065 皮膚内に保持された薬物においてラマン分光法を用いた評価
○赤羽広輝、前原玲奈、深水啓朗（明治薬大）
- P-066 粉碎方式が原薬の諸物性に及ぼす影響について
○林 弓¹、藤沼健太²、伊藤雅隆¹、鈴木浩典¹、野口修治¹
（¹東邦大薬、²日本ケミファ(株)製剤技術開発部）
- P-067 プロプラノロール塩酸塩含有テープ剤の製剤学的特性評価

- 吉田麗菜¹、樋村彩恵¹、原口七海¹、岡本憲明²、浦松俊治²、藤井美佳¹、深水啓朗¹
(¹明治薬大、²大同化成工業)
- P-068 ラマン分光法を用いたコアモルファスの品質評価に関する研究
○滝井彩乃¹、佐藤匠¹、小出達夫²、深水啓朗¹ (¹明治薬大、²国立衛研)
- P-069 アルテミシニン共結晶の形成過程リアルタイムモニタリング
○大和真奈、内田遥翔、島田尚輝、工藤嵩之、深水啓朗 (明治薬大)
- P-070 ALSの原因となるTDP-43の沈殿形成を抑制するRNAの探索
○西田優理華¹、西村錬¹、横川真梨子¹、坂上史佳²、横田隆徳²、大澤匡範^{1,2}
(¹慶應大薬、²医科歯科大医)
- P-071 脳梗塞発症後のグリコサミノグリカン構造および量の時系列的解析
○中條紗喜¹、星谷美桜¹、櫻井寛人¹、米野雅大¹、宮田真路²、東恭平¹
(¹東京理大薬、²東京農工大農)
- P-072 PLGA-PEG-PLGAトリブロックコポリマーを用いた抗がん剤の副作用として生じる口内炎の治療を目的としたGGsTop[®]製剤の開発
○岡田律輝¹、竹内一成²、板倉祥子¹、草森浩輔¹、西川元也¹ (¹東京理大薬、²城西国際大薬)
- P-073 口腔内崩壊フィルム製剤の組成最適化に向けた表面自由エネルギー評価
○小達萌未、井上元基、深水啓朗 (明治薬大院)
- P-074 カイコのグリコサミノグリカン鎖生合成に対する単糖食餌の効果
○田中里佳子¹、山田真理恵¹、塩谷健斗¹、松本靖彦²、米野雅大¹、東恭平¹
(¹東京理大薬、²明治薬大)
- P-075 pDNAの皮内・皮下組織導入効率に及ぼすエレクトロポレーションより生じた電場密度の影響
○青木愛実¹、長瀬果梨¹、板倉祥子¹、吉田雄哉^{1,2}、杉林堅次³、藤堂浩明¹
(¹城西大薬、²アステラス製薬、³城西国際大薬)
- P-076 分子動力学法を用いたトコフェルソラン固体分散体中の薬物の分散状態および分子間相互作用の評価
○小林千夏¹、奥脇弘次²、古石誉之¹、東頭二郎³、山下雄史¹、福澤薫^{1,4}、米持悦生¹
(¹星薬大、²JSOL、³千葉大院薬、⁴阪大院薬)
- P-077 クエン酸とアルギニンによるイオン液体の作製と薬物可溶化能評価
○田中菜緒¹、岡部華奈¹、古石誉之¹、山下雄史¹、福澤薫^{1,2}、米持悦生¹
(¹星薬大、²阪大院薬)
- P-078 がんペプチドワクチンの経皮送達の可能性
○加藤愛梨¹、繁永歩実¹、板倉祥子¹、杉林堅次²、藤堂浩明¹ (¹城西大薬、²城西国際大薬)
- P-079 Caffeine類と非ステロイド性抗炎症薬の物理混合による相互作用
○末永翔矢、長谷川寛治、桑島航、樋田智祐、後藤了 (東京理大薬)
- P-080 ロキソプロフェンナトリウム含有貼付剤の製剤学的特性評価
○四釜琴音、飯野雅也、深水啓朗 (明治薬大)
- P-081 HPLCによる脂質ナノ粒子(LNP)の簡易分析法の開発
○船津大輔¹、森田智香¹、村山希²、山本栄一³、宮崎将太²、加藤大¹
(¹昭和大薬、²ジーエルサイエンス、³国衛研)
- P-082 血中パゾパニブの短時間で簡易な測定法の開発
○上杉綾¹、山田理紗²、丸山真一^{1,2}、加藤大¹ (¹昭和大薬、²済生会横浜市東部病院薬)

- P-083 キラル誘導体化試薬を用いた食品中D-アミノ酸の定量
○矢部智也、安田伊吹、伊藤里恵、岩崎雄介、穂山浩（星薬大）
- P-084 ファモチジンの新規複合体作製と計算科学を用いた安定性の評価
○市川高弘¹、Li Ye¹、古石誉之¹、福澤薫^{1,2}、山下雄史¹、米持悦生¹（¹星薬大薬、²阪大院薬）
- P-085 2量体タンパク質中の単量体構造と複合体構造に着目したAlphaFold-Multimerの性能評価
○宮川祐太、清田泰臣、竹田一志鷹真由子（北里大薬）
- P-086 新規構造アライメント手法を用いたタンパク質立体構造の比較
○出津正太郎、清田泰臣、竹田一志鷹真由子（北里大薬）
- P-087 皮内埋込み型電極を用いたエレクトロポレーション法による遺伝子導入法の開発
○長瀬果梨¹、板倉祥子¹、吉田雄哉^{1,2}、青木愛実¹、杉林堅次³、藤堂浩明¹
（¹城西大薬、²アステラス製薬、³城西国際大薬）
- P-088 温度応答性高分子を用いたエクソソーム精製法の開発
○小暮利彦、山崎開智、花岡健二郎、長瀬健一（慶應大院薬）
- P-089 尿及び血中バンコマイシンの蛍光分析法の臨床検体への応用
○印南薫乃¹、大島有貴^{1,2}、堀瑞季¹、加藤大¹（¹昭和大薬、²昭和大病院薬）
- P-090 温度応答性高分子を用いた臍帯由来間葉系幹細胞分離法の開発
○松田潤之介、花岡健二郎、長瀬健一（慶應大院薬）
- P-091 卵黄レシチンリポソームはインスリンアミロイド形成を促進する
○鶴元辰伍、堀住祐介、木村里沙、古賀遼太郎、奥村勇太、槌田智裕、後藤了（東京理大薬）
- P-092 紫外線吸収剤の光分解反応機構に対する β -シクロデキストリンの影響
○黒田千尋、弘重諒介、南出恵、長谷川寛治、槌田智裕、後藤了（東京理大薬）
- P-093 ケトプロフェン/リドカイン混合物の融解における熱力学的解析
○長谷川寛治、小川紗羅、茶谷仁、片岡洸、槌田智裕、後藤了（東京理大薬）
- P-094 抗酸化物質によるhydroxocobalaminの酸化還元反応の速度論的解析
○石黒雅央、古賀遼太郎、長谷川寛治、堀住祐介、槌田智裕、後藤了（東京理大薬）
- P-095 オキシカム系NSAIDsの高pH側と低pH側からみたpK_aの2つの側面
○盛武航太、長谷川寛治、槌田智裕、後藤了（東京理大薬）
- P-096 リソソームへ酵素を安定に送達するナノ粒子の開発
○横田萌、村山周平、加藤大（昭和大薬）
- P-097 尿中cfDNAの効率的な精製法の開発
○中野愛吹、小倉唯奈、細川知佳子、福島諒、加藤大（昭和大薬）
- P-098 3',4'-DihydroxyflavonolはミクログリアのLPS誘発炎症応答を抑制する
○石塚萌乃香、赤石樹泰、山本昇平、阿部和穂（武蔵野大薬）
- P-099 肺がん細胞株骨移植による雄性悪液質モデルマウスの性状解析
○長谷川拓也、川原浩一、前田武彦（新潟薬大薬）
- P-100 マイクログリアが全身炎症後の疾病行動からうつ行動の移行に関与する
○吉田遼介¹、池谷裕二^{1,2}、小山隆太^{1,2}（¹東大院薬、²東大Beyond AI研究推進機構）
- P-101 *Malassezia* 属菌の細胞壁完全性に対するSlr2-MAPKシグナル伝達経路の関与
○小林玉青、張音実、松本靖彦、杉田隆（明治大薬）
- P-102 アトピー性皮膚炎の増悪因子である真菌*Malassezia globosa*と細菌*Staphylococcus aureus*の相互作用

- 松村空、張音実、杉田隆（明治薬大）
- P-103 病原性酵母の菌体表層分子に結合するヒト分子の探索
○市川智恵、石橋芳雄（湘南医療大薬）
- P-104 *Escherichia coli* のバイオフィルムにおける垂鉛によるメロベネム耐性化誘導機序の解析
○伊倉由莉恵、倉門早苗、松本靖彦、杉田隆（明治薬大）
- P-105 AAA ATPase NVL2と結合するスプライソソーム関連タンパク質CWF19L2の機能解析
○大島廉太、山崎隆蔵、泉川桂一、長浜正巳（明治薬大）
- P-106 病原真菌 *Trichosporon asahii* のバイオフィルム形成におけるGpa1を介したシグナル伝達経路の関与
○小金澤彩智、松本靖彦、金井弘美、杉田隆（明治薬大）
- P-107 ホスホリパーゼCを介した病原真菌 *Trichosporon asahii* の増殖の調節
○金井弘美、松本靖彦、小金澤彩智、杉田隆（明治薬大）
- P-108 病原真菌 *Trichosporon asahii* の転写因子Crz1が担うストレス抵抗性機構
○清水優太、松本靖彦、吉友桂、遠藤寿伶希、杉田隆（明治薬大）
- P-109 病原真菌 *Trichosporon asahii* におけるオートファジー関連分子であるATG1とATG8の役割
○中山メイ、松本靖彦、米本歩未、宮本和夢、倉門早苗、杉田隆（明治薬大）
- P-110 多剤耐性緑膿菌NCGM2.S1の多剤排出系MexAB-OprM産生上昇における制御因子の役割
○林光太、片倉幸紀、野島瑠莉、森田雄二（明治薬大）
- P-111 リボソーム前駆体粒子を構成するタンパク質WDR74におけるがん関連変異の機能解析
○長野知世、廣岡侑也、泉川桂一、長浜正巳（明治薬大）
- P-112 TRAMP様複合体核小体タンパク質ZCCHC7のプロテインノックダウンによる機能解析
○岩川結貴菜、宮尾宗太郎、泉川桂一、長浜正巳（明治薬大）
- P-113 JAK2変異体によるRgccの発現誘導機構およびその役割の解析
○横田壮雅¹、山本未有斗¹、上田史仁¹、多胡憲治²、多胡めぐみ¹（¹慶應大薬、²群馬大保健）
- P-114 アルツハイマー病リスク遺伝子APOEの選択的スプライシング制御
○鈴木慧南、柳津茂慧、紀嘉浩（明治薬大・病態RNA制御学）
- P-115 HBV PreS1/NTCP相互作用に対する阻害剤簡易スクリーニング系の構築
○堀渕慶太¹、入間田早瑛¹、山本雄一朗¹、横川真梨子²、清水祐吾²、米澤朋起²、池田和由²、浅見仁太³、清水敏之³、大戸梅治³、深澤征義^{1,4}、大澤匡範²、野口耕司^{1,4}
（¹東京理大薬、²慶應大薬、³東大院薬、⁴国立感染研・細胞化学）
- P-116 ヘパラナーゼとMMP2は結腸癌細胞スフェロイドの浸潤を制御する
○野崎笑美¹、丹生慧¹、鈴木健斗¹、宮田遥¹、高橋勝彦¹、中島元夫²、入村達郎³、東伸昭¹
（¹星薬大、²SBIファーマ、³順天堂大医）
- P-117 老化と認知症に共通して認知機能を制御する、脳血管内皮細胞由来因子の探索
○平林峻太郎^{1,2}、植田堯子¹、木下薫²、小笠原裕樹²、村松里衣子¹
（¹精神神経研セ神経研、²明治薬大）
- P-118 ヘパラナーゼ2が胎盤栄養膜細胞に与える影響
○井上麗奈、築山祐実、藤野ゆうな、勝野礼以、高橋勝彦、東伸昭（星薬大）
- P-119 卵巣癌転移におけるヘパラナーゼの関与について
○山崎万葉¹、野本莉紗¹、江井梨花¹、高橋勝彦¹、奥輝明¹、玉田裕²、中島元夫³、入村達郎⁴、東伸昭¹（¹星薬大、²（公財）ときわ会・常磐病院、³SBIファーマ、⁴順天堂大医）

- P-120 MTR4結合タンパク質SPF30とBox H/ACAおよびBox C/D型 snoRNPの相互作用におけるジメチル化アルギニン結合ドメインの機能解析
○北沢優佳、宮尾宗太郎、泉川桂一、長浜正巳（明治薬大）
- P-121 Angiotensin IIの慢性投与が慢性容量負荷による心房リモデリングに与える影響—持続的な昇圧を認めない用量における検討—
○市川かれん、相本恵美、永澤悦伸、高原章（東邦大薬・薬物治療学）
- P-122 慢性容量負荷モデルラットにおける左右心房の電気生理学的特徴の相違—左房の*in vivo*電気生理学検査法の確立を通じて
○宮本雄太、相本恵美、永澤悦伸、高原章（東邦大薬・薬物治療学）
- P-123 アルツハイマー病保護的なCD33アイソフォームの検出と発現誘導
○中川琉胤、柳津茂慧、紀嘉浩（明治薬科大・病態RNA制御学）
- P-124 Nrf2活性化剤によるメチルグリオキサール誘導性カルボニルストレスの軽減作用
○鶴留里梨、小池伸、鈴木俊宏、小笠原裕樹（明治薬大）
- P-125 核小体シャペロンNVL2におけるMTR4結合配列の機能解析
○大賀嵩之、保谷綾乃、泉川桂一、長浜正巳（明治薬大）
- P-126 慢性容量負荷・aldosterone 負荷モデルラットの催不整脈特性獲得に至るプロセスの解析
○近藤瑞希、相本恵美、永澤悦伸、高原章（東邦大薬・薬物治療学）
- P-127 Triphenylbismuth dichlorideの培養がん細胞への効果の検討
○中川雄貴¹、常名あかね¹、安池修之²、鍛冶利幸¹、高澤涼子¹
（¹東京理大薬、²愛知学院大薬）
- P-128 PurpurogallinによるGlyoxalase I 阻害と培養がん細胞への効果の検討
○藤岡紫穂、森本寛生、桑名ゆりあ、高澤涼子（東京理大薬）
- P-129 CUGリピート由来RNA fociの形成・分解に関与する因子の探索
○柳津茂慧、西宮海、外山桜美、紀嘉浩（明治薬大・病態RNA制御学）
- P-130 PTK2B遺伝子の選択的スプライシング制御因子の同定
○加藤優英、砂沢彩香、柳津茂慧、紀嘉浩（明治薬大・病態RNA制御学）
- P-131 緑膿菌PAO1株のベルベリン自然耐性におけるRND型多剤排出ポンプとSMR型多剤排出ポンプの役割
○横塚知世、安田響、水澤笑子、森田雄二（明治薬大）
- P-132 ヘパラナーゼがマウス結腸癌細胞由来細胞外小胞の物性に与える影響
○中島康太¹、山本陽香¹、志田直樹¹、高橋勝彦¹、秋元義弘²、中島元夫³、入村達郎⁴、東伸昭¹
（¹星薬大、²杏林大医、³SBIファーマ、⁴順天堂大医）
- P-133 子宮頸がんにおいて核局在aPKC λ が誘導する遺伝子群の同定
○千脇諒亮^{1,2}、佐々木和教²、水島大一³、秋本和憲¹、大野茂男²
（¹東京理大院薬、²順大院医老研セ、³横市大院医）
- P-134 線維芽細胞不死化とダイレクトリプログラミングによる疾患モデル構築
○大木彩維、竹澤綾人、柳津茂慧、紀嘉浩（明治薬大・病態RNA制御学）
- P-135 ヘパラナーゼ融合たんぱく質の糖鎖結合特異性
○中村桃子¹、馬場遼也¹、荒川颯二郎¹、高橋勝彦¹、築地信¹、中島元夫²、入村達郎³、東伸昭¹（¹星薬大、²SBIファーマ、³順天堂大医）
- P-136 MEGF10欠損マウスを用いたアルツハイマー病発症機構の解析

- 藤田融¹、前田智司²、矢部泰智¹、山田佳和¹、藤森順也¹、鄒 鶴³、駒野宏人⁴、
田邊由幸¹ (¹横浜薬大、²日本薬大、³名市大院医、⁴北大院薬)
- P-137 ヘパラナーゼ阻害糖鎖と IgG 抗体 9 1.9H の結合と活性評価
○大谷郁人¹、高橋勝彦¹、真鍋史乃¹、入村達郎²、東伸昭¹ (¹星薬大、²順天堂大医)
- P-138 インフルエンザウイルスヘマグルチニンと硫酸化糖鎖の相互作用解析
○北瀬成康¹、伊藤祐乃¹、鈴木陽太¹、有馬健昇¹、高橋勝彦¹、山本典生²、伝田香里³、
入村達郎³、松岡浩司⁴、東伸昭¹ (¹星薬大、²東海大医、³順天堂大医、⁴埼玉大工)
- P-139 GGC リピート由来凝集体の構成タンパク質の解析
○窪川亜莉紗、小野莉沙、柳津茂慧、紀嘉浩 (明治薬大・病態 RNA 制御学)
- P-140 多剤耐性緑膿菌 NCGM2.S1 のアミノグリコシド耐性における多剤排出系 MexXY
○山田彩椰¹、西野邦彦²、河村好章³、森田雄二¹ (¹明治薬大、²阪大産研、³愛知学院大薬)
- P-141 SARS-CoV-2 スパイクタンパク質 S2 領域を標的とする二重特異性中和抗体の作製
○佐藤薫¹、井上徹哉¹、山本雄一朗¹、中村優子²、清水芳実^{2,3}、小川基彦⁴、深澤征義²、
金子美華⁵、加藤幸成⁵、野口耕司¹ (¹東京理大薬、²感染研・細胞化学、³帝京平成大薬、
⁴感染研・ウイルス第 1 部、⁵東北大院医)
- P-142 *Achromobacter xylosoxidans* 基準株の自然耐性における多剤排出系 AxyXY-OprZ の役割
○菅野瑞軌、目崎彩実、古川美海、水澤笑子、森田雄二 (明治薬大)
- P-143 TREM2 発現制御を指標としたミクログリア状態変化因子の探索
○高田侑史、柳津茂慧、紀嘉浩 (明治薬科大・病態 RNA 制御学)
- P-144 神経膠芽腫細胞の TMZ 耐性機構における長鎖非コード RNA の関与
○藤村和加、岡本諒、戸谷滉希、佐藤聡 (東京理大薬・生化学分子生物学)
- P-145 CUG リピート RNA による MBNL1 タンパク質発現量への影響
○青木祐賢、柳津茂慧、紀嘉浩 (明治薬科大学・病態 RNA 制御学)
- P-146 時計遺伝子 *Bmal1* の欠損は大腸前がん病変形成を促進する
○廣田幸奈、北浦慧、高杉幸子、和田平、榛葉繁紀 (日本大薬)
- P-147 蛇毒 disintegrin 由来 RGD ペプチドの血小板凝集阻害能
○大山悦子 (明治薬大薬)
- P-148 嗅覚遮断における嗅球 mitral/tufted cell での遺伝子発現変動
○森本匠、中嶋藍、池谷裕二 (東大院薬)
- P-149 脳炎症時のアストロサイトを標的とした中枢神経系作用薬の創出
○金澤亮磨、有吉悠、小川泰弘、道永昌太郎、菱沼滋 (明治薬大薬)
- P-150 リピート伸長疾患関連タンパク質 MLF2 の相互作用因子
○金澤空河、太田和伸、河合美南、柳津茂慧、紀嘉浩 (明治薬大・病態 RNA 制御学)
- P-151 IL7R の分泌に関わる選択的スプライシングの制御因子
○早川遊、端山美央、柳津茂慧、紀嘉浩 (明治薬大・病態 RNA 制御学)
- P-152 宮古ビデンス・ピローサエキスは筋萎縮性側索硬化症モデルマウスの炎症性グリア細胞を選択的に抑制する
○鶴田こむぎ、浜野裕衣、田中津宮美、宮岸寛子、小菅康弘 (日本大薬)
- P-153 C57BL/6J マウスを用いた NASH 病態モデルの短期作成
○本多彰宏、宮脇瑛恵佳、藤田絢音、金子知央、鎌田祥太郎、石井功 (昭和薬大衛生化学)

- P-154 ヘパラーゼによる炎症性サイトカインの産生促進作用：NF- κ Bの関与
○史 佳¹、高橋勝彦¹、中島元夫²、入村達郎³、東伸昭¹
(¹星薬大、²SBIファーマ、³順天堂大医)
- P-155 ヒトラクトフェリン模倣ペプチドChBpの抗腫瘍活性における細胞表面糖鎖の影響
○薬袋貴也、作田美咲、木村将大、佐藤淳（東京工科大院バイオ・情報メディア研究科）
- P-156 STZ誘発糖尿病マウス心筋の弛緩機能障害に対するquercetinの作用
○関舞香、濱口正悟、行方衣由紀、田中光（東邦大薬）
- P-157 飢餓ストレス下における肝臓内のGTP感知機能の重要性
○清野航¹、芦澤大輝²、廣田佳久^{1,2}（¹芝浦工大院・創薬科学、²芝浦工大・生命科学）
- P-158 イムノアイソレーションによるリソソーム単離法の至適化とその応用
○内田悠介、荒木信、紺谷圈二（明治薬大・生化学）
- P-159 加齢およびPiezo1の活性化によるTGM2の発現誘導
○助川心優、土岐友理、杉山裕紀、多胡めぐみ、中澤洋介（慶應大薬）
- P-160 網膜色素上皮細胞EMTに対するHesperetinとResveratrolの影響
○森田愛絵莉、杉山裕紀、多胡めぐみ、中澤洋介（慶應大薬）
- P-161 水晶体におけるPiezo1の機能解析
○齋藤愛加、土岐友理、中澤洋介、多胡めぐみ（慶應大薬）
- P-162 c-Myc T58A変異体によるDDX5を介した形質転換誘導機構の解析
○佐藤瑞季¹、武田健吾¹、多胡憲治²、多胡めぐみ¹（¹慶應大薬、²群馬大院保）
- P-163 ARL15のパルミトイル化修飾と膜局在化機構の解析
○芦優輝、茅野剛史、荒木信、紺谷圈二（明治薬大・生化学）
- P-164 3-Styrylchromone誘導体の腫瘍選択性に寄与するエストロゲン関連受容体に対するドッキングシミュレーション
○¹川瀬龍太郎、²坂上宏、¹植沢芳広（¹明治薬大薬、²明海大歯）
- P-165 ヒトEP300遺伝子プロモーターのレスベラトロールと酪酸に対する応答性の解析
○高橋伶佳、古屋秀晃、荻野暢子、内海文彰（東京理大薬）
- P-166 ヒトSPI遺伝子5'上流のプロモーター活性の解析
○川野和貴、石井琢朗、荻野暢子、内海文彰（東京理大薬）
- P-167 p62の高発現はLuminal B型乳がんALDH1A3陽性がん幹細胞におけるホルモン療法抵抗性と予後不良に関連する
○前村祐希¹、尾崎綾栞¹、翁長朝太郎¹、長島佑夏¹、多森翔馬¹、佐々木和教²、大野茂男²、秋本和憲¹（¹東理大薬、²順天堂大・老人性疾患病態治療セ）
- P-168 TREM2の細胞外分泌に関わる選択的スプライシングの制御
○岩井直希、松澤佳世、柳津茂慧、紀嘉浩（明治薬科大・病態RNA制御学）
- P-169 THP1細胞の分化誘導に対するWRN遺伝子ノックダウンの影響
○閻彌ひと美、加瀬生成、東祐太郎、津山崇、多田周右（東邦大薬）
- P-170 T細胞の活性化に対するWRN遺伝子ノックダウンの影響
○鹿倉菜月、東祐太郎、津山崇、多田周右（東邦大薬）
- P-171 NASH治験薬3種とPPAR $\alpha/\delta/\gamma$ 受容体との複合体結晶の構造解析
○鎌田祥太郎、本多彰宏、石川諒、赤羽真、藤田絢音、金子知央、宮脇瑛恵佳、垣生有希、

椎山結、内井希恵、町田優衣、石井功（昭和薬大衛生化学）

- P-172 カロリー制限においてMIPEPが脂肪組織に与える影響
○蓮見潤¹、野崎優香¹、水之江雄平¹、小林正樹²、樋上賀一^{1,3}
（¹東京理大薬、²お茶大基研院、³東京理大生命研）
- P-173 神奈川県の下水处理施設近傍の水域を対象とした薬剤耐性菌の実態調査
○曾川甲子郎、加藤英明（湘南医療大薬）
- P-174 コレステロール代謝に対する非ステロールビタミンKの役割
○芦澤大輝¹、佐野翔²、清野航²、須原義智^{1,2}、廣田佳久^{1,2}
（¹芝浦工大生命科学、²芝浦工大薬創薬化学）
- P-175 新規ビタミンK誘導体によるウイルス増殖抑制機構の検討
○早川真由¹、本間大暉¹、山口華奈²、須原義智¹、廣田佳久¹
（¹芝浦工大薬創薬科学、²芝浦工大生命科学）
- P-176 紫外線によるミトコンドリア DNA の損傷と修復に対する細胞分裂の影響
○大石彩菜、小日向玲香、川田敏美、ハス図雅、服部研之（明治薬大）
- P-177 単球活性化試験（MAT）の陽性対照の発熱性物質試料の調製法の検討
○林克彦¹、大屋賢司¹、菊池裕²、工藤由起子¹（¹国立衛研、²千葉県立保健医療大）
- P-178 海洋由来真菌から単離した neoatroviridin による paraptosis 様細胞死の形態観察
○肥田野透海、横山竜也、中舘和彦、高取（木下）薫、服部研之（明治薬大薬）
- P-179 骨粗鬆症治療薬 Bisphosphonate はビタミン K 代謝を抑制する
○中川胡桃¹、村田昂平²、富岡涼¹、廣田佳久^{1,2}
（¹芝浦工大生命科学、²芝浦工大薬創薬科学）
- P-180 プロスタサイクリン合成酵素（PGIS）の乳がんにおける役割
○倉塚紗¹、佐々木由香¹、横山知永子²、原俊太郎¹（¹昭和大薬、²神奈川工科大）
- P-181 ベンゾ[a]ピレンによる受容体チロシンキナーゼEGFRのフィードバック制御解析
○河崎優希、岸本航、加藤優歌（高崎健康福祉大薬・衛生化学研究室）
- P-182 マクロファージにおける Ah receptor (AhR)の欠損は肥満を促進する
○児嶋朝香、鈴木彰悟、高杉幸子、石井宏剛、和田平、榛葉繁紀（日本大薬）
- P-183 ハプテン誘導性大腸炎・接触皮膚炎における超硫黄分子産生酵素2種の異なる役割
○赤星軌征、長谷川凌花、山本真吾、竹本麟太郎、吉澤俊樹、上茶谷若、石井功
（昭和薬大衛生化学）
- P-184 テキストマイニングによる薬剤服用歴の特性解析
○坂本舞樹¹、田中紫茉莉¹、宮田敏²、山戸淳³、志保美月¹、中谷絵理子¹、熊谷瞬³、
古川正樹³、矢守隆夫⁴、黄倉崇¹
（¹帝京大薬、²帝京大院、³サンドラッグ、⁴帝京大臨床研究センター）
- P-185 不眠症患者に対する睡眠衛生指導の影響
○山口悟¹、町村裕香³、坂井信之¹、浦本太一郎²
（¹中央堂桜台薬局、²中央堂伊勢原薬局、³望星薬局）
- P-186 ストレスによる母乳中miR-148a発現量の減少は、乳児の腸管タイトジャンクション（TJ）形成低下と
関連する
○千葉健史¹、高栗郷^{2,3}、小岡亜矢⁴、本郷文教⁴、和田真一郎⁵、藤澤美穂⁶、佐藤秀紀²、

木村利美¹、前田智司⁷ (¹順天堂大病院薬、²北海道科学大薬、³北の大地ライフ研、⁴手稲溪仁会病院薬、⁵手稲溪仁会病院産婦人科、⁶岩手医大教養セ、⁷日本薬大薬)

P-187 イオン液体封入多孔性シリカの経鼻デバイスによる噴霧特性

○栃木杏友、鈴木直人、神谷千悠、長友太希、鈴木豊史 (日本大薬)

P-188 Markov model による ST 合剤誘発性高 K 血症の予測モデル構築

○渡辺史也¹、平井利典²、岩本卓也²、花田和彦¹ (¹明治薬大、²三重大病院薬)

P-189 2大学3学科での完全オンラインによるIPEの実施と教育効果

○三田充男¹、佐藤全伯²、上野美紀³、三上由美子³、蒲生修治¹、大野恵子¹、川北晃司¹、田口潤¹、杉富行¹、栗原勲²、野村佳代³、中村昌子³、早野貴美子³、石塚俊晶²、小林靖²、越前宏俊¹ (¹明治薬大薬、²防衛医大医、³防衛医大看)

P-190 ヒトカルボキシシルエステラーゼアイソザイムの基質特異性を考慮したジエステル型インドメタシンプ
ロドラッグの合成と代謝活性化

○高荷大輔、高橋滉平、高橋正人、細川正清 (千葉科学大薬)

P-191 新規心疾患治療薬SNPiPのラットにおける体内動態の検討

○松井瑠李¹、鶴窪和果¹、前田絢子¹、中村成夫²、柿沼由彦²、真野泰成¹
(¹東京理大薬、²日本医大医)

P-192 LC-MS/MS を用いた新規抗炎症薬リダイフェン類縁体の血漿中濃度測定法の開発と薬物動態研究への
応用

○和田時奈¹、後藤ひかり¹、蒲地未来¹、前田絢子¹、鈴木悠己²、米岡雨音²、小向杏佳²、
村田貴嗣²、椎名勇²、真野泰成¹ (¹東京理大薬、²東京理大理)

P-193 HapLog[®]による各種ヒドロコルチゾン酪酸エステル含有軟膏剤およびクリーム剤の製剤学的評価

○市村奈津希、和田侑子、熊澤美裕紀、石井文由、下川健一 (明治薬大)

P-194 グリシンスペーサーを含むオリゴアルギニンの細胞内取り込みの評価

○本橋航平、幸村友菜、関智宏、関俊暢 (城西大薬)

P-195 30 歳代の継続的な運動習慣の有無と食生活、日常行動、健康意識、生活習慣病の恐怖度との関連

○新海夢凧、町田いづみ (明治薬大)

P-196 大腿骨近位部骨折患者における二次骨折に関連する因子の検討

○葛西雄斗^{1,2}、木津了¹、三好拓海¹、酒井良子¹、赤沢学¹ (¹明治薬大、²東川口病院薬)

P-197 医薬品副作用データベース (JADER) を用いた抗認知症薬の不整脈の関連

○小林正太郎^{1,2}、篠崎浩司¹、永野浩之^{2,3}、宮森彩香^{2,4}、高橋雅弘²、櫛山暁史²
(¹国医大成田、²明治薬大、³埼玉医大、⁴国立千葉)

P-198 超音波応答性ナノバブルと LNP 併用による筋選択的 mRNA デリバリーシステムの構築

○宮澤つぐみ¹、中山航史郎¹、佐々木愛理¹、竹下敦斗¹、細井悠暉¹、中澤佳菜子¹、
田中浩揮²、秋田英万²、高橋葉子¹、根岸洋一¹ (¹東京薬大薬、²東北大院薬)

P-199 マイクロ流体技術を利用したナノバブルの新規調製法の確立

○淡路賢斗、高橋葉子、山口泰暉、根岸洋一 (東京薬大薬)

P-200 リアルワールドデータを用いた薬事承認が行われた医薬品 2 剤 Palbociclib、Tacrolimus の記述分析と国
際比較

○大野絵理、前田英紀 (明治薬大)

P-201 ビソプロロールの血漿中濃度と心拍数への影響についての調査研究

- 本石寛行^{1,2}、白石真菜¹、永澤駿介¹、木村直也²、野澤(石井)玲子¹
(¹明治薬大、²草加市立病院薬)
- P-202 ポマリドミド関連皮膚障害に関する実態調査とリスク因子解析
○杉富行^{1,2}、串亮太²、花井誉²、中野裕史³、今井唯³、内田智之³、井上盛弘³、萩原政夫³ (¹明治薬大、²永寿総合病院薬、³永寿総合病院血液内科)
- P-203 がん薬物療法に伴う口腔粘膜炎に対して処方された薬剤の使用実態調査
○植村宥美¹、香取祐介²、菅原充広^{1,2}、小西由紀²、稲野寛²、佐々木寿子²、佐々木治一郎³、尾鳥勝也^{1,2} (¹北里大薬、²北里大病院薬、³北里大医)
- P-204 小児・AYA 世代全身性エリテマトーデスの診療実態に関する研究
○齋藤結衣¹、磯部歩澄¹、川邊智宏²、宮前多佳子²、酒井良子¹、赤沢学¹、(¹明治薬大、²東京女子医科大医)
- P-205 副作用データベースにおける自覚症状関連副作用語を用いた患者自己モニタリングに関する検討
○宮沢伸介、植沢芳広 (明治薬大)
- P-206 腫瘍深部への薬物送達を可能とする腫瘍環境応答性リボソームの開発
○北村果鈴、金子夏希、馬場美奈帆、山崎裕一、濱 進 (武蔵野大薬)
- P-207 関節リウマチ患者における生物学的製剤の在宅自己注射の実態研究
○前田唯、高畑和彦、酒井良子、赤沢学 (明治薬大)
- P-208 直接経口抗凝固薬の体内動態、バイオマーカー及び臨床イベントの関係のモデリング
○新妻麗華^{1,2}、長谷川美緒¹、金子和佳奈¹、花田和彦¹
(¹明治薬大、²国立国際医療研究センター病院薬)
- P-209 免疫チェックポイント阻害薬治療による肺障害と自覚症状に関する調査
○白崎春野^{1,2}、長谷川桜咲¹、山本夏菜¹、酒井良子¹、赤沢学¹
(¹明治薬大、²武蔵野赤十字病院)
- P-210 イルソグラジンマレイン酸による創傷治癒効果の検証
○山口紗季、三井勇唯、廣瀬香織、花輪剛久 (東京理大薬)
- P-211 湿式粉碎によるメフェナム酸の微粒子化-界面活性剤による分散安定性の向上-
○吉川真以、河野弥生、阪口美優、山崎萌絵、廣瀬香織、花輪剛久 (東京理大薬)
- P-212 Vacuum Compression Molding (VCM) によるナプロキセン-ニコチンアミド共結晶含有固体分散体の調製
○神戸優弥、小田馨、廣瀬香織、花輪剛久 (東京理大薬)
- P-213 皮膚角層の微細構造に及ぼす非イオン性界面活性剤の影響
○土門愁斗、池内由里、柴崎一輝、小幡誉子 (星薬大)
- P-214 チロシンキナーゼ阻害薬の吸収に対する食事の影響と影響因子の考察
○野村日向子、木原理沙、鈴木沙樹、花田和彦 (明治薬大)
- P-215 Albumin fusion to human lactoferrin enhances its anti-EMT effects on human lung adenocarcinoma PC-14 cells
○Hana Nopia, Daisuke Kurimoto, Masahiro Kimura, Atsushi Sato
(Graduate School of Bionics, Tokyo University of Technology)
- P-216 皮膚関連細胞の増殖に及ぼす植物由来ナノ粒子の影響
○金井里紗¹、板倉祥子¹、杉林堅次^{1,2}、藤堂浩明¹ (¹城西大薬、²城西国際大)

- P-217 遺伝子搭載ナノバブル調製時におけるキトサンオリゴ糖コーティングの有用性評価
○鈴木章平、高橋葉子、山口泰暉、根岸洋一（東京薬大薬）
- P-218 カチオン性両親媒性薬物はファブリー病モデルマウスに対する酵素補充療法に影響を与えない
○齋藤光希、月村考宏、志賀智子、櫻庭均、兎川忠靖（明治薬大）
- P-219 2型糖尿病患者における睡眠薬使用と血糖日差変動の関連
○大塚美空¹、高橋雅弘¹、赤沢学¹、藤坂紗彩¹、山之内美環¹、菊池貴子²、櫛山暁史¹
（¹明治薬大、²朝日生命成人病研）
- P-220 超低出生体重児におけるクレアチニンクリアランスの評価に関する検討
○山口咲¹、青木花音¹、中村隼都¹、笹野央²、花田和彦¹（¹明治薬大、²順天堂大病院薬）
- P-221 筋肉細胞のミトコンドリア形態変化と酸化ストレス及びアクチンの関与
○馬場めぐみ、横山尚哉、高橋雅弘、山室大介、櫛山暁史（明治薬大）
- P-222 様々な血糖変動指標と2型糖尿病腎症発症進展の関連
○藤坂紗彩¹、高橋雅弘¹、大塚美空¹、山之内美環¹、菊池貴子²、櫛山暁史¹
（¹明治薬大、²朝日生命成人病研）
- P-223 外来がん薬物療法初回施行時の抗がん薬並びに制吐薬による便秘発生状況の後方視的観察研究
○伊藤美南¹、菅原充広¹、稲野寛²、米山大志²、毛利順一¹、尾鳥勝也^{1,2}
（¹北里大薬、²北里大病院薬）
- P-224 副腎皮質ステロイド軟膏とヘパリン類似物質油性クリームとの混合物安定性に関する研究（続報）
○原田朱音¹、深水啓朗²、小出達夫³、山本佳久¹（¹帝京平成大薬、²明治薬大、³国立衛研）
- P-225 服薬補助ゼリーの物性が医薬品の苦味マスキング効果に及ぼす影響
○栗原里佳子¹、太田美鈴²、小幡誉子¹、池内由里¹（¹星薬大、²山王病院薬）
- P-226 重質酸化マグネシウムの近赤外スペクトルに対する吸湿の影響
○小倉南帆¹、深水啓朗²、小出達夫³、山本佳久¹（¹帝京平成大薬、²明治薬大、³国立衛研）
- P-227 説明可能なAIを用いた抗体医薬品の副作用マッピング
○奥村勇太、後藤了、石黒雅央、南出恵、長谷川寛治、槌田智裕、真野泰成（東京理大薬）
- P-228 アレンジロン酸錠の溶出における服薬補助食品の影響について
○中村乃理子、栗田拓朗、瀧沢裕輔、中島孝則（日本薬大・臨床薬剤学分野）
- P-229 Dapagliflozinの慢性投与が慢性容量負荷モデルラット心房の催不整脈特性に及ぼす影響
○佐々木悠里、相本恵美、永澤悦伸、高原章（東邦大薬・薬物治療学）
- P-230 Cells Alive Systemを用いた間葉系幹細胞製剤の製剤設計とその評価
○清水美衣、仲桜々子、西田早希、秋田智后、山下親正（東京理大薬・DDS・製剤設計学）
- P-231 関節リウマチ患者におけるcytochrome P450 3A活性の変動要因の探索
○小田絢子¹、鈴木陽介¹、佐藤春輝¹、田中遼大²、小野寛之²、尾崎貴士³、龍田涼佑²、
前島圭佑³、石井宏治³、柴田洋孝³、伊東弘樹²、大野恵子¹
（¹明治薬大、²大分大病院薬、³大分大医内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学）
- P-232 わが国の医薬品有害事象データベース（JADER）を用いたアンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬（ARNI）の有害事象の解析
○藤村朋未、高橋雅弘、山室大介、櫛山暁史（明治薬大）
- P-233 機械学習を活用した糖尿病患者における血糖変動の予測
○山之内美環¹、高橋雅弘¹、赤沢学¹、大塚美空¹、藤坂紗彩¹、菊池貴子²、山室大介¹、

櫛山暁史¹ (¹明治薬大、²朝日生命成人病研)

- P-234 副作用自発報告データベース JADER を用いた薬剤性間質性肺疾患に関わる漢方製剤含有生薬の網羅的調査
○木村恭輔^{1,2}、亀卦川真美^{1,3}、菅裕亮^{1,4}、植沢芳広¹
(¹明治薬大薬、²データック、³横浜薬大薬、⁴なの花薬局)
- P-235 アクティブラーニングの手法を活用した統合型学習プログラムの構築と有用性評価
○長田洋一、渡邊真知子、岩澤晴代、野呂瀬崇彦、厚味厳一、細山田真、板垣文雄、坂本謙司、大藏直樹、宮田佳樹、安藤崇仁、寺山和利、前島多絵、奥直人、楯直子 (帝京大薬)
- P-236 ソラフェニブ/ドキシソルビシン共封入リポソームの調製法の検討
○川野久美、岡本桃寧、中島万里奈、井上真緒、橋本裕実、服部喜之 (星薬大)
- P-237 ラットを用いたシスプラチン誘発性腎障害に対する予防薬の探索
○佐藤光利、石井友理、藤松成美、庄司美貴、大沼英省、永井貴大 (明治薬大薬)
- P-238 J774.1 細胞における糖の違いによる炎症誘発効果の検討
○内田彩友美、高橋雅弘、富田結惟、天池律樹、櫛山暁史 (明治薬大)
- P-239 ポサコナゾール誘発性偽アルドステロン症が疑われた 1 例
○大平千陽¹、橋本直明¹、栗田尚樹²、土岐浩介¹、千葉滋²、本間真人¹
(¹筑波大病院薬、²筑波大病院血液内科)
- P-240 わが国の医薬品有害事象データベース (JADER)を用いた直接経口抗凝固薬 (DOAC)による間質性肺疾患のシグナル解析
○金子美優、高橋雅弘、山室大介、櫛山暁史 (明治薬大)
- P-241 高血糖・小胞体ストレス応答が与える SGLT2 発現・膜輸送への影響
○横山尚哉¹、馬場めぐみ¹、山室大介²、高橋雅弘²、櫛山暁史² (¹明治薬大院、²明治薬大)
- P-242 種々パーキンソン様症状と誘発医薬品に関する網羅的解析
○亀卦川真美^{1,2}、植沢芳広² (¹横浜薬大、²明治薬大)
- P-243 脳波と STAI 測定による医療現場での活用を目指した音楽の効果測定
○村田穂香、井上能博 (昭和薬大)
- P-244 当院における術後体重減少に寄与する因子の検討
○宮森彩香¹、永野浩之¹、小林正太郎¹、疋田絵里¹、高橋雅弘¹、櫛山暁史¹、筒井秀知²
(¹明治薬大、²国千葉医セ)
- P-245 EGFR 阻害剤による下痢発症機序の解析
○森野優志、今理紗子、五十嵐信智、酒井寛泰、細江智夫 (星薬大)